

令和4年度第2回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和4年12月5日(月)

13時30分～

場 所 湯梨浜町役場講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るKPIの状況及び具体的事業の取組状況及び来年度実施方針について・・・資料1～4

5. その他

(1) デジタル田園都市国家構想について・・・資料5

(2) 今後の予定について

委員任期：令和5年5月26日まで

次回会議：令和5年6月上旬

7. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和3年5月27日～令和5年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産 湯梨浜町商工会	副会長	石沼 友	
2	産 鳥取中央農業協同組合	中央営農センター長	西村 好美	
3	産 株式会社 栄進工業	会長	坂田 康則	
4	官 湯梨浜町	町長	宮脇 正道	
5	学 鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平	会長
6	学 東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章	
7	学 女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子	副会長
8	金 山陰合同銀行	羽合支店長	岩谷 悟	
9	金 鳥取銀行	羽合支店長	前田 博史	
10	金 日本政策金融公庫	鳥取支店国民生活事業統轄	和田 芳廣	
11	労 倉吉公共職業安定所	所長	野上 秀和	
12	労 労働団体の関係者		加藤 一	
13	労 労働団体の関係者		岡本 梓	
14	言 新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹	
15	公募 女性公募		佐相 亜友美	

	鳥取県中部総合事務所県民福祉局	副局長	野藤 和則	コンシェルジュ
	湯梨浜町	副町長	吉川 寿明	
	湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
	湯梨浜町総務課	課長	岩崎 正一郎	
	湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
	湯梨浜町出納室	室長	竹本 里香	
	湯梨浜町建設水道課	課長	石本 義之	
	湯梨浜町産業振興課	課長	遠藤 秀光	
	湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
	湯梨浜町町民課	課長	尾坂 英二	
	湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
	湯梨浜町総合福祉課	課長	前田 知代	
	湯梨浜町健康推進課	課長	林 紀明	
	湯梨浜町長寿福祉課	課長	西田 貴頼	
	湯梨浜町農業委員会	事務局長	藤井 貞宣	
	湯梨浜町教育総務課	課長	山田 志伸	
	湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	池田 豊具	
	湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
	湯梨浜町立図書館	館長	岡本 陽子	
	湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
	湯梨浜町みらい創造室	室長	西原 秀昭	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	未来創造担当主事	濱本 怜子	事務局

湯梨浜町の人口動向

資料1

○自然増減は、令和4年の出生数、死亡数ともに前年と比べて増加傾向だが、死亡数の増加が大きく、自然減は前年より大きくなる傾向にある。

○社会増減は、令和4年は転入者数が令和2年、3年を上回る増加傾向にあり、社会増となる見込みであるが、県外からの社会増減についてはなお転出超過の見込みである。

1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

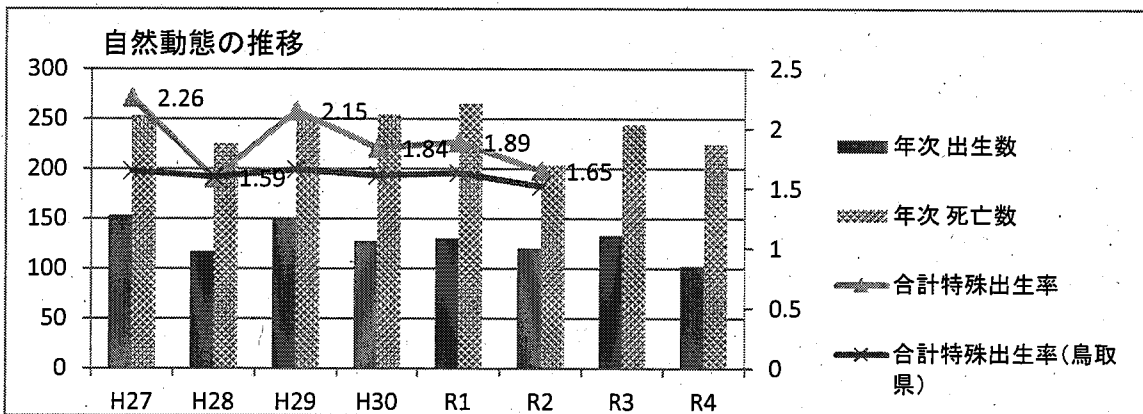
※R4は1～9月

年次	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
自然増減	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127	▲ 135	▲ 83	▲ 111	▲ 122
出生数	153	117	151	127	130	120	133	102
死亡数	253	225	250	254	265	203	244	224

【出生数と合計特殊出生率の推移】

※R4は1～9月

年次	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出生数	153	117	151	127	130	120	133	102
前年比	9	▲ 36	34	▲ 24	3	▲ 10	13	▲ 31
合計特殊出生率	2.26	1.59	2.15	1.84	1.89	1.65		
合計特殊出生率(鳥取県)	1.65	1.6	1.66	1.61	1.63	1.52		

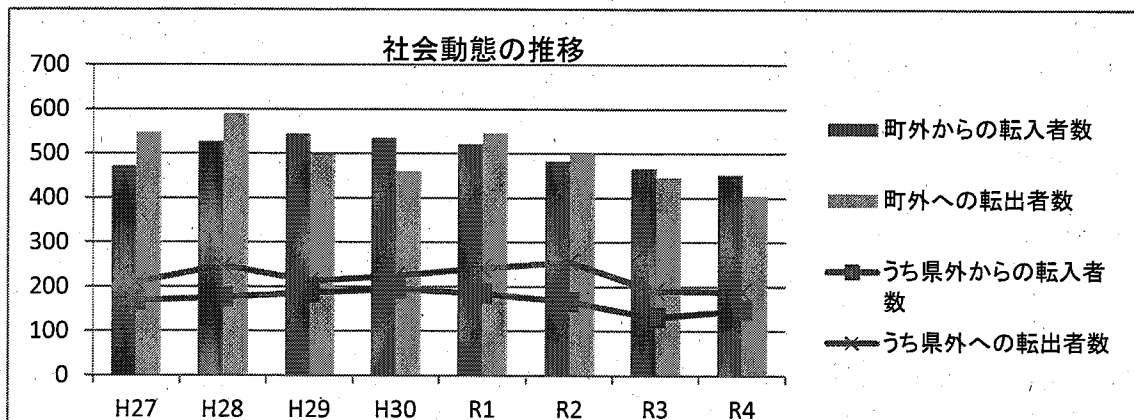


2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

※R4は1～9月

年次	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
社会増減	▲ 75	▲ 62	47	74	▲ 25	▲ 17	21	46
町外からの転入者数	472	527	545	535	521	483	467	452
町外への転出者数	547	589	498	461	546	500	446	406
うち県外転入増減	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30	▲ 57	▲ 90	▲ 60	▲ 42
うち県外からの転入者数	169	176	187	195	185	166	131	147
うち県外への転出者数	210	248	213	225	242	256	191	189

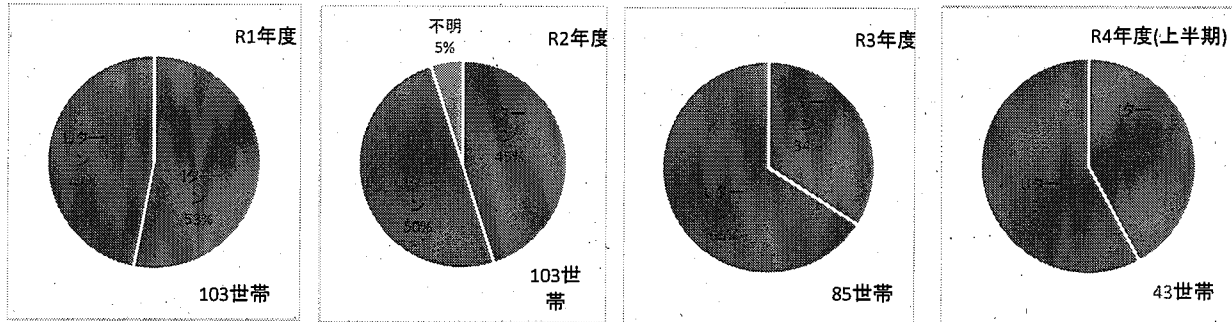


出典：出生数、死亡数、転入者数…「鳥取県の人口推計」
 合計特殊出生率…県福祉保健課が算出

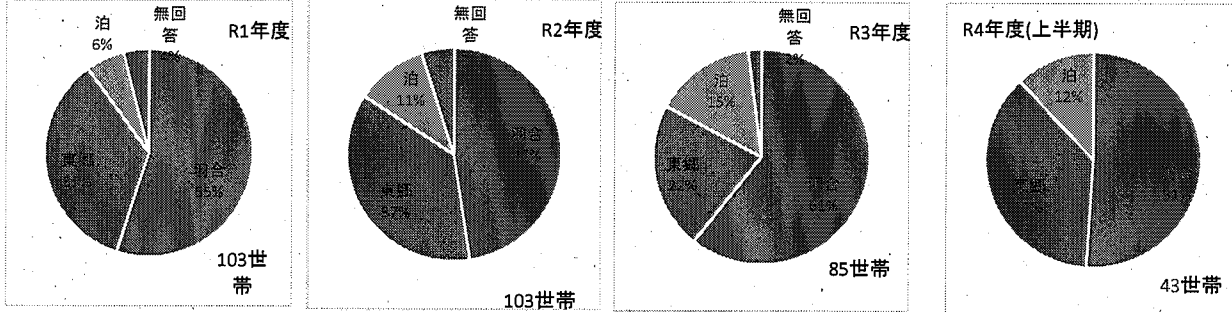
● 県への報告数(参考値)

	R1	R2	R3	R4 (上半期)
世帯数	103	103	85	43
人数	142	134	104	50

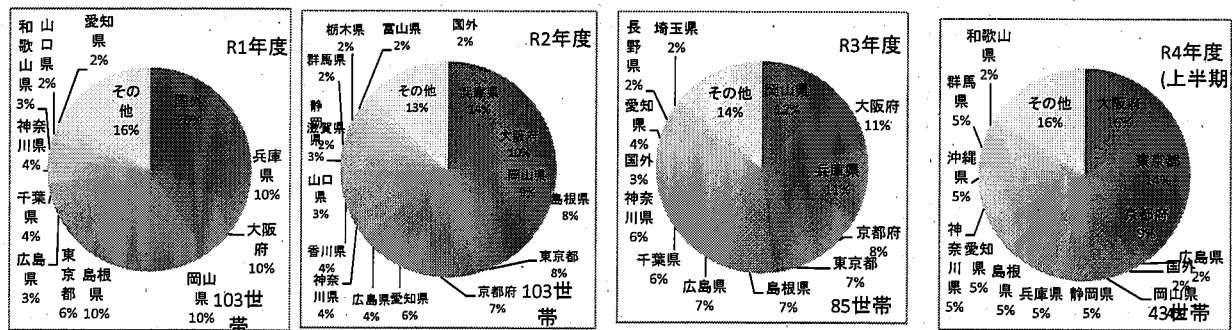
● 県外からの移住 Iターン、Uターンの割合



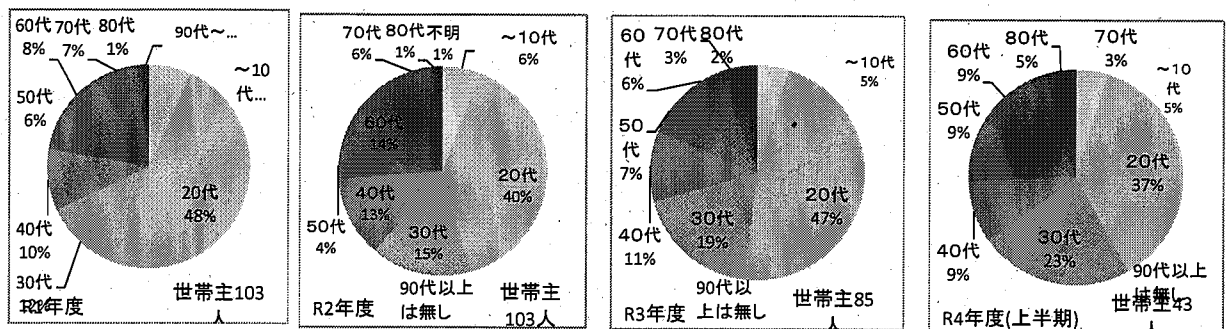
● 県外からの移住者 転入先地域の割合



● 移住前の住所



● 移住者の年代



基本目標 I 活力ある元気なまち 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》



資料3

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					算出根拠等	目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6			
温泉宿泊客数	今後も現状の宿泊客室数を維持することを前提に、国内交流人口の減少が戻込まれる中ではあるが、教育旅行やコンベンションの誘致、インバウンドの促進など多角的な取り組みにより、R1実績を上回る宿泊者数を目指す。	【年間】 135,662人	67,068人	60,584人	43,925人			旅館組合宿泊客数報告による。(R4.4~R4.9)	17万人 (年間)	産業振興課
新規就業者数 (常用雇用)	今後の労働力人口の減少と現在の雇用情勢の継続による減少と、地方創生企業支援金・移住支援金事業による東京圏からのUターンによる起業、就業者の増加により、現状維持を見込む。	159人	129人	144人	62人		町民が町内外の企業等に就職した常用雇用者数。ハローワーク倉吉から情報提供。(R4.4~R4.9)	200人 (年間)	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》



目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					算出根拠等	目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6			
合計特殊出生率	H30の国の合計特殊出生率1.42、県1.61で年々減少傾向にあることから、現状維持を目標とする。	1.84 (日本人口188)	1.89 (日本人口1.94)	1.65 (日本人口1.70)	-	-	-	令和4年度中に県が公表した令和3年分の合計特殊出生率。厚生労働省から交付された人口動態調査結果を基に、鳥取県福祉保健課が算出したもの。令和3年中(R3.1.1～R3.12.31)の女性人口、出生数が算出基礎数値となっている。※R4.11.30時点で未公表	2.07	子育て支援課
出生数	過去5年出生数平均134人。出生数はわずかに減少傾向にあることから、第1期当初(H27)の出生数維持を目標とする。	127人	118人	131人	72人	-	-	令和4年度中(R4.4.1～R5.3.31)の出生数。本町健康管理システム(住基連動)データによる。※R4.9.30時点	150人 (年間)	子育て支援課

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち
 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》



目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
県外からの IJUターナー者数	H27～R1の5年間の累計が900人を 超過する見込み。これまで1年あたり 170人だった目標を185人に増やし、 引き続きIJUターナー者数の維持・増 加に努める。	195 【累計】922 人	165	136	88			925 (令和4年4月～令和4年9 月)男性:48人、女性:40 人 (町民課住基データより)	みらい創造室
転入転出異動	①H27～R1の5年間で均衡に近い 数字となっている②年毎のIJUター ナー者数は微増③転出者数が減ってい ない④人口ビジョンでは減少が見込 まれる、の4点から、R2～R6の5年 間での累計の均衡を目標とする。	△25	△17	21	46			均衡 【累計】 (1月～9月)転入:452人、 転出:406人 (鳥取県統計課「鳥取県 の推計人口」より)	

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況の概要(令和4年度)

具体的事業の取組状況

評価区分	3年目
A:達成済、事業完了	18
B:計画以上に進んだ	5
C:計画どおりに進んだ	45
D:計画より遅れた	21
E:未着手、未実施、先送りなど	4
合計	93

68

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
				目標	達成率		
1 湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆ 総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 44千円 ◆ 戦略会議2回開催予定 44千円 ◆ 報告会、説明会、研修会への参加旅費 216千円 ◆ 郵送料 13千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	<ul style="list-style-type: none"> 5月7日にゆりばま未来づくり本部会議を開催し、令和3年度実績及び令和4年度計画について検討した。 6月1日にゆりばま創生総合戦略会議を開催し、令和3年度実績及び令和4年度及び令和3年度新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業の効果検証も行った。 6月13日に第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと総合戦略を改訂した。 6月18日に議会全員協議会にて、戦略会議結果及び戦略改訂について報告した。 10月7日にゆりばま未来づくり本部会議を開催し、令和4年度実施状況及び令和5年度実施方針について検討した。 	21	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	50%	【評価・C 計画どおりに進んでいる】 順調に開催している。	みらい創造室
2 農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 コロナ禍および新型コロナウイルス感染症拡大の終息を見据えて進物用パンフレットの内容などを再検討し、JA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。販路拡大、単価増額については、リモート形式を活用した販売PRを行い、増収につなげる。 【販売PRイベント】 観光大使活動謝金 12,000円 旅費 45,000円 PR用梨 10,000円	<ul style="list-style-type: none"> 露地二十世紀梨の販売額前年産比1%増 (R3販売額 668,877千円) 	0	露地二十世紀梨の販売額前年産比1%増 (R3販売額 668,877千円)	0%	【評価・E 未着手、未実施又は先送りなど】 感染拡大防止のためやむを得ない対応であった。	産業振興課
3 鳥取梨等生産振興事業 (農業生産現場強化事業①)	鳥取柿ぶどう生産振興事業 鳥取県が新樹栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する。 醸造用ぶどう新植300千円(10a) × 1/2 = 150千円 育成促進対策(新植等)94千円(10a)	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画どおり申請を準備中。補助金執行見込額244千円。 	0	柿、ぶどう等の新植面積の10a増	0%	【評価・D 計画より遅れている】 ぶどう新植に向け準備中	産業振興課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	KPI		R5 実施方針	担当課	
			達成率	評価			
4 鳥取県等生産振興事業(地方創生) 鳥取県が推奨する新品種(新甘泉、王秋など)を中心に栽培に必要資材(苗木、土壌改良剤等)、施設(果樹棚、かん水施設、園内道、スビードスプレーヤーなど)の整備を支援。新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存品種(ジョイント栽培)が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)。補助対象者は町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合。 新甘泉等特別対策10,567千円、ジョイント栽培拡大事業2,575千円、低コスト・体制強化事業4,099千円	17,240	事業取りまとめを行ったところ補助総額17,240千円の要望があり、9月補正に4,996千円の増額を計上し対応する。 計画を取りまとめた。 ・「新甘泉」特別対策事業(新・改植64.8a) ・ジョイント栽培拡大事業(栽培用苗1090本) ・低コスト・体制強化事業(乗用モア1、葎採取機1、SS2)	0%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 【評価】C 計画どおりに進んでいる 要望とより現状より進捗率は100%を超える見込み	梨生産地を維持発展させるために、県奨励の新品種(新甘泉、王秋)への転換促進及び二十世紀梨の生産拡大を支援することにより生産者の所得向上を図る。 また、今湾梨生産団地造成計画と並行して新品種への推進を図る。	産業振興課	
5 湯梨浜版担い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円(予算額300千円)、④ ○新規就農者住宅家賃補助：町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助(予算額240千円)、③・④ ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10~50万円)を補助(予算額1,500千円)、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5~30万円)(予算額1,241千円)、①・②・③・④・⑤	3,281	新規就農者住宅家賃補助：1件 120,000円 中古機械導入補助：1件 500,000円 農業機械修理補助：10件 1,305,000円	150%	【評価】A 達成済又は事業完了了 認定制度の普及及び関係機関との連携により、新たに3件の新規認定を行うことができた。 達成率3名/2名=150%	農業者の高齢化・後継者不足により、耕作を依頼される農地の増加が見込まれる。耕作放棄地の発生防止、産地再生のために、多様な担い手を確保し営農を継続することが重要であり、町独自の基準により担い手の認定を行っていく。 支援事業内容を見直しながら継続して支援を行う。	産業振興課
6 中核的担い手農家育成 奨励金交付 事業(農業生産現場強化事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受け、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受け、場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年 予算額 R4.1月~12月契約見込み分 1,038千円	1,038	利用権設定面積 306,052㎡ 利用権設定筆数 246筆 利用権設定者数 55人 補助金の予定額 1,217,090円	143%	【評価】A 達成済又は事業完了了 権利設定面積は3016ha。計画的に権利設定しており、今後も増加見込。 達成率 30ha/21ha=143%	農業者の高齢化・後継者不足により、耕作を依頼される農地の増加が見込まれ、担い手への農地集積を進める必要がある。 担い手の育成及び農地流動化の促進を図るため、継続して支援していく。	産業振興課

事業名	計画		実績 (11月末現在)		KPI		R5 実施方針	担当課
	予算額	執行済額	目標	達成率	評価			
7 農林水産物 等販売促進 事業	町内の農林水産物の商標権、意匠権等の取得や宣伝資材作成を支援する。 販売促進のための新規パッケージ作成を支援 予算:50千円 (1/2補助・上限80千円) 販売促進にかかるチラシ、パンフレット作成費 予算:100千円 (1/3補助・上限300千円) ブランド化を図るための商標権、意匠権等の取得を支援100千円(1/2補助・上限あり)	250	事業PR中。現時点、相談案件なし。	1件以上の宣伝資材作成を支援する	0%	【評価】E 未着手、未実施又は先送りなど 現状では、相談がない。	R5 実施方針 町内の名産、特産品の販売促進のための新規パッケージ、チラシ、パンフレット等の宣伝資材作成を支援することにより製造者が自信を持って販売していく体制を図っていく。	産業振興課
8 東郷湖漁業 振興事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 267千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 267千円	534	○東郷池覆砂事業 10/11 交付決定 事業は11月頃から実施予定 ○東郷池クリーンアップ事業 8/25 交付決定 10月1日・2日実施	シジミ漁獲量 120t	0%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 東郷湖クリーンアップ事業について、交付決定を行った。漁獲量は翌年1月末に確定。	引き続き覆砂事業、クリーンアップ事業の助成を行い、池内環境の保全に取り組む。シジミ漁獲量の増加につなげる。	産業振興課
9 沿岸漁業 活性化推進 事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱 × 100円 × 1/2 = 1,500千円	1,500	○輸送経費補助 4/1 交付決定 燃料高騰対策として輸送コスト支援補助金10の補助率を1/2に嵩上げ支援 予算額50万円増額	新規漁業就業者1名	50%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 5月から新規で1名の研修生を受け入れ、漁業研修を行っている。輸送経費について、予定通り、交付決定を行った。	漁業の活性化を図り、新規漁業就業者の確保につなげる。継続して輸送コストの補助を支援する。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	目標	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
10 特産果物生産振興事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、ほうれん草、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業とならぬ生産経費・修繕などについて、生産者を支援する。		JA生産部等へ事業取りまとめを行ったところ梨、ぶどう、メロン、ほうれん草、西瓜の部会及び認定農業者より、補助総額4,931千円の要望があり、9月補正に2,963千円の増額を計上し対応する。 (要望取りまとめ) 梨関係:被覆材張替、改修5件 ぶどう関係:被覆材張替、改修等18件 メロン関係:被覆材張替2件 ほうれん草関係:被覆材張替4件 スイカ関係:被覆材交換2件 認定農業者:苗木購入1件	0	設備導入支援 農家数 20戸	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 被覆材の張替えほとんどで、県事業では拾い出せなかった要望を拾い出すことができた。要望とりまとめ状況より、達成率は100%を超える見込み。	R5 実施方針 町特産品である施設園芸品目と梨の生産拡大を旨とした生産者の負担軽減のための施設整備等を支援し、特産地としての維持と生産振興を図る。 5年度以降も生産部等と調整し、事業を継続するとともに、持続可能な営農の支援を行いたい。	産業振興課
11 森林環境税 関連事業	事業予定 7,619,000円 管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援すると共に森林整備の推進を図る。 ◆森林経営管理事業関連 3,926千円 意向調査委託(宇谷地区:50ha)・管理権集積計画作成委託(小浜、筒地区:45.02ha) ◆竹林対策事業関連 454千円 町放置竹林対策協議会1回・竹林管理講習会(ウラ止め・間伐) ◆森林整備事業関連 3,239千円→7,738千円 景観保全事業、美観地区形成事業など ＜令和4年9月補正追加＞ 森林景観事業(町負担25%)501千円 竹林対策・森林整備(町管理林道等竹木伐採)3,998千円 ※森林整備基金積立金 6,200千円 令和4年度森林経営管理事業推進面積50ha(宇谷地区) (R3意向調査回答面積(小浜、筒地区) 45.02ha)	12,118	◎森林経営管理事業関連 業務委託契約(契約日:令和4年6月14日) 意向調査・森林調査文書発送済 進捗率:30% 意向調査:宇谷地区、80.82ha 森林調査:小浜、筒地区27.77ha 計画作成:10.43ha ◎竹林対策事業関連 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし。 ◎森林整備関連 ・景観保全事業 出雲展望台周辺維持管理実施 契約済 ・美観地区形成事業 令和4年度実施範囲確認のみ実施 ＜9月補正に増額計上し対応するもの＞ 森林景観事業(尾崎氏庭園、鳩見籠守神社) 竹林対策・森林整備(白石林道、鉢伏林道、野花地区)	0	森林経営管理事業推進面積 50ha → 80.82ha	20%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 森林環境税と税を財源として、森林整備及び竹林対策事業を推進できている。達成率は、90%以上が見込める。	森林経営管理事業の推進や放置竹林対策事業を支援する。また、引き続き景観保全事業等実施していく。	産業振興課
12 ゆりはま農作業体験ツアー事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。 交通費助成(片道相当) 1/2補助 56千円 宿泊費助成(3泊4日・お試住住宅) 37千円 着地型観光体験 4千円 ※いずれも4人を想定	97	新型コロナウイルス感染症の全国的な増加で、現状では実施できていない。	参加者数 4人	0	【評価:E 未着手、未実施又は先送りなど】 コロナ禍により積極的な勧誘ができていない。	新規就農者獲得のため農作業体験ツアーを提供し、将来的な移住就農へつなげる。コロナの動向を見ながら積極的にPRしていく。	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
					達成率	評価		
13 ゴルフ・ゴルフ 国際化及び潮風 の丘聖地化の推 進③	<p>グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ルール普及、販売2,153千円 ◆マレーシア、スペイン ◆用具提供・販売4,229千円 <p>全国から中古のクラブを収集するなどして、未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜町まちづくり財団による用具販売を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国際組織運営協力108千円 <p>町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。</p>	6,490	<p>◆ルール普及0千円</p> <p>マレーシアから訪問依頼があったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、トップセールスの実施を見合わせた。スペインについては、今後調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆用具提供・販売2,852千円 <p>都道府県GG協会に呼びかけてクラブ1330本、ボール944個を収集。高齢者健康増進施策としてGGを導入することや、モンゴルジョナショナルグラウンド・ゴルフ連盟に用具を提供した。また、湯梨浜まちづくり財団が30%offによる用具販売を実施しており、5か国3,340千円を売り上げた。</p>	2,852	<p>①海外からのイベント参加者数 240人</p> <p>②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>	0%	<p>【評価:C】計画どおりに進んだ。10月に開催される予定のグラウンド・ゴルフ国際大会 YURIHAMA2022は国内在住者向けの大会としたため、目標は達成できない見込み。例年より引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により活動を縮小せざるを得ないが、各国GG協会等の代表者等にWMG2021関西の日程について町長からの書簡を送るなどして交流を維持しているほか、用具提供・用具販売にて海外普及を後押ししている。</p>	みらい創造室
14 ウォーキングリ ゾート構想の推進 及びインバウンド の促進①	<p>ウォーキングリゾートとしてインバウンド化を目指すため、済州オレレとの「友情の道」協定を活用した相互PRにより、国内外の交流人口の増加と地域活性化を目指す。</p> <p>《ウォーキングリゾート推進事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特別旅費 477千円 ◆消耗品費 20千円 ◆通信運搬費 9千円 ◆筆耕翻訳料 52千円 ◆委託料 865千円 ◆使用料及び賃借料 1千円 ◆負担金 6千円 ◆補助金 170千円(9月補正) <p>計 1,600千円</p>	1,600	<p>10月23日に開催したゆりはま天女ウォークに済州オレレ関係者を招くという調整を行っていたが、航空便数が少なく、移動に時間を要することから、スケジュール確保困難のため来日できず。</p> <p>口新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向となり、渡航制限の緩和や変更を受けて、11月3～5日に済州島で開催される「済州オレレウォーキングフェスティバル」への参加に向け、公募による町民のイベント参加を計画。将来的な国際交流を活用するため、他団体の補助金を活用予定であったが、公募等の期間が短く、航空状況等も不安定であることから、参加を中止した。</p>	1	<p>①海外からのイベント参加者数 240人</p> <p>②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>	0%	<p>引き続きウォーキングを通じてインバウンドの推進、町のPRを実施していく。また、「友情の道」協定締結を契機とした町民交流のあり方を済州オレレと協議、検討する。</p>	健康推進課
15 天女のふる里づく り事業①	<p>①東郷湖・未来創造会議事業</p> <p>「天女のふる里づくり」事業の一層の伸長に向け、住民と連携した緑化の取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域おこし協力隊員報酬等 2,374千円 ◆社会保険料 396千円 ◆委員報酬 65千円 ◆委員報償費等 50千円 ◆委員旅費 70千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,600千円 <p>②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆補助金 200千円 	4,778	<p>①地域おこし協力隊員(コミュニケーションデザイナー)の応募があったが任用に至らなかった。</p> <p>②交付申請 2件</p>	補助金の利用:2件	100%	<p>【評価:A】達成済又は事業完了】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①9月末まで着任には至っていない。 ②地域の任意団体2団体(東郷地区、泊地区)からの申請があった。 	企画課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
					目標	達成率		
16 天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にリーフレットを配付 ◆ イベント参加旅費 46千円 ◆ 消耗品 28千円 ◆ 通信運搬費 5千円 ◆ セキュリティ保険料 4千円 ◆ 高速道路使用料等 13千円	96	①高石市の開催するイベントへの参加を予定しているが、上半期の開催はなし。 ①-2町内小学校の3年生164名に天女伝説啓発リーフレットを配布。	①イベント参加:1回 4	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①新型コロナウイルス感染症の動向に影響されるが、できるだけイベントの参加等を通じて情報発信を行っていく。 ①-2子供たちへの羽衣天女伝説の認知度向上を図ることができた。	企画課	
17 天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 ・宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29年度に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆ 旅費 141千円 ◆ 消耗品 50千円 ◆ 委託料 122千円	313	地元のボランティア団体(宇宙桜がーニングプロジェクト)と合同で、天女桜がーデンの草刈りを5回実施。	宇宙桜に関連した住民参加による取組:6回 0	83%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定通り実施できている	企画課	
18 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 ・天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆ 積立金 3,002千円	3,002	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 ふるさと納税制度等を活用した寄付額は、1,118千円。年度末に基金へ積み立てる予定。 積立金 1,118千円 ⇒年度末に積立て予定のため、現時点で執行額は0円。	寄付金額を300万円とする。 0	37%	【評価:D 計画より遅れている】 前年同時期と比べ約25%の減となっているが、過去3か年の平均額と概ね同額となっている。	企画課	
19 天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」のデザインと着ぐるみの活用を進める。 ◆ 旅費、メンテナンス、通信運搬費、商標登録更新手数料等 468千円	468	■ デザイン活用:16件(10月末現在) ■ 着ぐるみ活用:17件(10月末現在)	デザイン活用30件 着ぐるみ活用30件 276件	55%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 デザイン活用 53% 着ぐるみ活用 56% 達成率 55% =(53%+56%)/2	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	目標	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
20 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県備前山地区の連携を深め、観光資源の共有及び周辺環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するたためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 9月補正インバウンド誘致対策事業を追加 ◆会費 1,759千円	1,759	■R4年度会費 1,759千円 湯梨浜町観光客数 (R4年4月～9月) ○観光入込客数:411,099人 (前年比:67.1%、前年:612,604人) ○宿泊客数:43,925人(日本人・外国人計) (前年比:72.5%、前年:60,584人) ○外国人宿泊者数:62人 (前年比:213.7%、前年:29人)	531	湯梨浜町観光客数(令和4年) ①年間観光入込客数 650,000人以上 (R3:612,604人) ②年間宿泊客数 70,000人以上 (R3:60,584人) ③年間外国人宿泊客数 50人以上 (R3:29人)	75%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県内及び全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大以前に比べて観光客・宿泊客とも少ない状況が続いているが、昨年の同時期に比べると増加している。 達成率 (①+②+③)/3= 75% ①63% ②63% ③100%	新型コロナウイルス感染症収束後、中部圏域で連携した観光商品造成を進め、海外セーラーズなどを通してインバウンドをはじめとした観光客の誘致に積極的に取り組む。	産業振興課
21 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	【地方創生推進交付金】 新たな観光振興スタイル、時代に合致した情報提供方法(デジタル化)、感染対策を講じた観光商品(ワーケーション等)を中心とした事業を実施する。 広域観光連携推進事業員負担金 30,000千円 デジタル化推進事業 アニメカルチャータウンコンテンツ育成事業 観光スキルアップサイト構築事業 情報発信事業 インバウンド誘客対策事業 ワーケーション整備計画策定事業 ◆湯梨浜町負担金 3,520千円	3,520	■R4年度負担金 3,520千円 ○デジタル化推進事業:中部圏域デジタルマップ「こころにmap」掲載箇所:654件 利用促進を図るためクイズキャンペーン実施(4半期ごと)、デジタルスタンプラリー(夏・秋)実施 ○観光スキルアップサイト構築事業:観光スキルアップ研修(6～2月)受講15名、撮影・編集技術カアアップ研修実施(7月) ○情報発信事業:メルマガ配信、ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにより観光情報発信 ○インバウンド誘客対策:通訳案内士・通訳・翻訳業務登録者26名、香港・台湾旅行社の視察対応実施 ○ワーケーション:整備計画策定事業:6/17実行委員会開催、8/10・9/8研修会、9/27～28先遣地視察実施	10,481	湯梨浜町観光客数(令和4年) ①年間観光入込客数 650,000人以上 (R3:612,604人) ②年間宿泊客数 70,000人以上 (R3:60,584人) ③年間外国人宿泊客数 50人以上 (R3:29人)	75%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県内及び全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大以前に比べて観光客・宿泊客とも少ない状況が続いているが、昨年の同時期に比べると増加している。 達成率 (①+②+③)/3= 75% ①63% ②63% ③100%	新型コロナウイルス感染症収束後、中部圏域で連携した観光商品造成を進め、海外セーラーズなどを通してインバウンドをはじめとした観光客の誘致に積極的に取り組む。	産業振興課
22 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,481千円	10,481	■町観光協会補助金交付10,481千円 2024年度 教育旅行予約18件 (ドラゴン17件、Gゴルフ7件 重複あり)	10,481	2年後の修学旅行等の予約:20件	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 2024年度教育旅行予約18件	引き続き、教育旅行商品について観光協会を通じてPRしていく。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
					目標	達成率		
23 ワーケーション推進事業 (ゆうゆうゆりはま事業、観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業含む)	<p>【地方創生推進交付金・臨時交付金ほか】 町内創生施設等におけるワーケーションの活用について県内外へ積極的にPRを行い、新たな観光産業の定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワーケーション推進事業 19,269千円 プログラムの作成、企画、県外企業とのマッチング、マスメディア発信、誘致冊子作成等 ◆ゆうゆうゆりはま事業 765千円 Webサイト更新及び告知ページ制作 ◆観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 300千円 町内観光施設等が行う公衆無線LANの整備補助 ◆宿泊施設受入環境整備支援事業 9,000千円 ワーケーションなどの新しい旅行スタイル受入のための施設改修、誘客を図るための情報発信事業に係る経費の一部を支援 	29,334	<ul style="list-style-type: none"> ■ワーケーション推進事業 (Webサイト更新、ワーケーションプラ実施、情報コンテンツ制作・情報発信)委託契約 ○県外者によるワーケーションプランを6月に1回、7月に1回、10月に1回実施。9名参加。 ○ホームページ等にて、ワーケーション情報の掲載 6回 ○ワーケーション動画配信によるPR ○ケーブルテレビでのワーケーションPR 	8,279	100%	<p>町内ワーケーション受入宿泊施設数:5施設</p>	<p>【評価:A 達成済又は事業完了】 Wi-Fi環境をはじめ、宿泊施設内で「ワーケーション」できる環境の整備等も徐々に進み、5施設において積極的な受入が進められている。</p>	産業振興課
24 食と健康のまちづくり事業	<p>県・町・(株)タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業」に関する協定に基つき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供《食と健康のまちづくり事業》 ◆タニタヘルスリンク・リズム・展開業務 ○委託料 369千円 (監修メニュー・オリジナルメニュー業務) ◆監修メニュー・利用促進施策 ○報償金 200千円 ○消耗品費 52千円 ○印刷製本費 165千円 計 786千円 	786	<ul style="list-style-type: none"> □監修メニューの周知啓業を図るため、臨店数に応じた賞品を抽選で進呈するキャンペーンを10月に開始。応募用紙を持参する来店客もあり、キャンペーン効果が表れてきている。 □新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、各店舗メニューの品質チェックを実施予定。 	37	50%	<p>【目標】 監修メニュー提供数:850食 ※R3年度実績:795食</p>	<p>【評価:D 計画より遅れている】 当初計画から後ろ倒しでの開始となったが、キャンペーン実施を通じて、監修メニュー全体の利用促進を図る。また、メニューの紹介チラシを今後新たに作成し、周知の強化を図る。</p> <p>【提供数】 388食(9/21時点)</p>	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI		R5 実施方針	担当課
						予算額	評価		
25 ゆりはまじ、 げ産業支援 事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者を支援する。 ○補助金 ・創業、新規事業展開支援 1,667千円 (事業費1,000千円×1/2×2事業者 +事業継承 事業費1,000千円×2/3×1事業者) ・販路開拓支援 2,333千円 (事業費400千円×1/2×9事業者 +事業継承 事業費400千円×2/3×2事業者)	■創業 交付決定3件、決定額1,259千円 ■新事業展開 交付決定1件、決定額500千円 ■販路開拓 交付決定3件、決定額562千円	428	制度活用事業者5件以上	140%	【評価:A 達成済又は事業完了了】 創業3件、新事業展開1件、販路開拓3件の計7件を交付決定した。順調に進んでいる。	創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者を支援していきたい。	産業振興課	
26 チャレンジ ショップ支 援事業 【I:④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円まで交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件600千円 継続分1件150千円	■継続分 交付決定1件、決定額50千円 令和4年1月に創業した事業者の令和4年4月分から12月までの賃借料を支援予定 ■新規分 交付決定2件、900千円 令和4年4月及び10月に創業した事業者の賃借料を支援予定	333	新規申請1件	200%	【評価:A 達成済又は事業完了了】 新規分2件を交付決定。順調に進んでいる。	空き店舗等を借りて創業する事業者を支援していきたい。	産業振興課	
27 ふるさと名 物応援事 業	町の地域資源を生かした商品や観光プランの開発を支援する。従来は東郷湖周フオーキングを活用した商品開発を対象としていたが、制度を拡大し、町内の地域資源を活用する事業を対象とする。 ◆補助金 150千円×7事業者=1,050千円	■交付決定2件、決定額300千円 現在、3事業者が検討中。	0	新規申請1件以上	200%	【評価:A 達成済又は事業完了了】 2件を交付決定。順調に進んでいる。	町の地域資源を活用して商品開発等を支援していきたい。	産業振興課	
28 環境創出プ ロジェクト事 業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液体タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を円り循環型社会を継続して推進する。 ◆対象事業費4,427千円(委託料4,276千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)	■4月1日より生ごみの収集運搬業務の委託契約を結び、協力区、公共施設等での収集を継続している。 ■本庁舎及び各支所において液体肥料の無料配布を継続している。 ■回収協力区は増減なし。	1,784	生ごみ回収協力区の拡大 R3末 10区 ⇒ R4末、12区以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 町報等により回収協力区を募集しているが、応募がない。	収穫運搬と液肥配布を継続していくと共に、エコやSDGsと関連付けたPRを行い、回収協力区を拡大していきたい。	町民課	

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	KPI		R5 実施方針	担当課
			達成率	評価		
29 ふるさと奨励金貸付事業(名称変更)・ふるさと奨励金貸付事業(名称変更)・ふるさと奨励金貸付事業(名称変更)	【ふるさと人材育成奨励金】 高取県未来人材育成奨励金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨励金返還額の一部を助成する。 ○対象となる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨励金：貸与を受けた奨励金の返還総額の1/6 ・有利子の奨励金：貸与を受けた奨励金の返還総額の1/8 ・助成期間：原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆助成中2人(82千円) ◆新規4人(240千円)	継続認定者 2件 新規認定者 0件 町HPに制度の概要を掲載するとともに、県のHP上においても周知してもらっている。 今後、町報による周知も予定している。	0	【評価】D 計画より遅れている 県と協力しながらHP等により制度周知を行っているが、新規申請者なし。 新規申請者：実績0人/目標4人=0%	R5 実施方針 高取県未来人材育成奨励金支援助成金の認定者で湯梨浜町の制度の周知と併せて町の制度も周知し、今後ともよく連携を図りながら制度の周知に取り組んでいく。	教育総務課
30 (再掲) チャレンジショップ支援奨励金 【I・③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件600千円 継続分1件150千円	継続分 交付決定1件、決定額50千円 令和4年1月に創業した事業者の令和4年4月から12月までの賃借料を支援予定 ◆新規分 交付決定2件、900千円 令和4年4月及び10月に創業した事業者の賃借料を支援予定	333	【評価】A 達成済又は事業完了 新規分2件を交付決定。順調に進んでいる。	産業振興課	
31 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)の者 6か月以上継続雇用した事業所に奨励金を交付する。 ◆補助金 4人分の制度利用を見込む。 20万円×4人=80万円	■2事業者より相談はあったが、申請は無し。	0	【評価】D 計画より遅れている 引き続き、町ホームページや町商工会により制度を周知していく。	産業振興課	
32 就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。	■県外の学生に就職関連情報を提供する県制度の活用を行った。 8月開催「とっとり就職フェア」について、県外大学等へ情報提供。	0	【評価】A 達成済又は事業完了 県外の学生に就職関連情報を提供する県制度の活用していく。	産業振興課	
33 企業誘致用地等情報提供事業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。 (旧中学校等跡地利用の情報を共有し対応していく)	■4件の情報提供あり。ホームページで公開し、関係機関に情報提供した。(はわい長瀬3件、橋津1件)	0	【評価】A 達成済又は事業完了 4件の情報を公開。企業誘致につながるよう、情報提供していく。	産業振興課	

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI		R5 実施方針	担当課
						予算額	評価		
34 ビジネス入 材移住支 援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサ イトに掲載された求人に応募し、3か月以上勤務している場合又 は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移 住支援金を交付する。 ◆補助金 1,000千円×1世帯=1,000千円	◆交付決定(9/22時点) 0件 0千円	0	1世帯(2人) 移住	0%	【評価:D 計画より遅れてい る】 HP、町報等で周知している が、現時点で申請に至ってい ない。	【評価:D 計画より遅れてい る】 北浜中跡地については、交渉 権者を決定したものの、協議 が進まず、交渉権を無効とし た。事業者決定については白 紙になり、今年度中の事業者 決定は無くなった。 東郷中跡地については計画 どおり進捗中。	今後も移住相談会等の機会 を捉えPRIに行っていること も、県と連携して取り組んで いく。	企画課
35 中学校跡 地施設活 用事業	旧北浜・旧東郷中学校等跡地施設の有効利用を図るため、民間 提案制度の活用等により、利用事業者を決定する。 ≪R4当初予算額≫2,321千円(報酬29千円、旅費138千円、需用 費49千円、役務費5千円、委託料2100千円) ※4月補正 報酬 144千円増額(予算現額 173千円) 旅費 200千円増額(予算現額 338千円) 事業全体 予算現額 2,665千円	北浜中跡地については7事業者より民間 提案の応募があり、公共用地有効利用 審査委員会を経て、優先交渉権者及び 次点交渉権者を決定。優先交渉権者と 事前協議を進めてきたが、事業計画に 変更が生じ地域活性化の効果が低減さ れたため、交渉権を無効とし、次点交渉 権者についても同様に無効とした。今 後、同敷地内でこども園及び区画道路 の位置を決定した後、再度募集を行う予 定。	241	旧北浜中工リ ア及び旧東郷 中エリアの利 用事業者を決 定する。	32%	【評価:D 計画より遅れてい る】 北浜中跡地については、交渉 権者を決定したものの、協議 が進まず、交渉権を無効とし た。事業者決定については白 紙になり、今年度中の事業者 決定は無くなった。 東郷中跡地については計画 どおり進捗中。	旧北浜中跡地についてはR5 年度の春に民間提案の再募 集を開始する予定。同時に区 域内道路など用地のインフラ 整備を進めていく。 旧東郷中跡地については優 先交渉権者との協議が整え ば、R5年度の春までに事業 実施契約を締結する予定。	企画課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)		執行済	目標	達成率	KPI		R5 実施方針	担当課
			11/30現在 支給受付:78件	11/30現在 支給受付:78件				計画	評価		
36 子育て支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆5,414千円/3ヵ月×4回=21,659千円 通信運搬費33千円	21,692	11/30現在 支給受付:78件 ■R4.4~6月分(7/25支払):3,753千円 ■R4.7~9月分(10/25支払):4,497千円	8,290	年産末時点で、未産児の家庭での子育て率は68.8%以上とする。	95%	【評価:B 計画より進んでいる】 11月末現在、2歳未満児261人のうち、こども園等入園児は171人。家庭子育て率は65.5%。	引き続き家庭で育児をする家庭への給付を行い、経済的不安を緩和し安心した育児環境を補助する。	子育て支援課		
37 多子世帯保育料軽減事業	令和4年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 【第3子以降児無償、第2子半額】 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	0	計画内容に加えて、令和元年10月から国の幼児教育・保育の無償化により、原則3歳以上児の保育料が無償となり、保護者の負担がさらに減っている。 第3子以降児出生数(出産祝い金支給申請、決定数)決定 27件(11月末現在)	0	第3子以降児の出生率を令和4年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 国の保育料無償化もあり、保育料の負担はかた減っている。第3子以降児の出生率は、11月末で27件と計画どおり	引き続き保育料の無償化・軽減を行い、多子世帯への支援を行う。	子育て支援課		
38 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出生・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出生・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,090千円 出生時 50,000円 × 33名 = 1,650千円 小学校入学時 30,000円 × 25名 = 750千円 中学校卒業時 30,000円 × 23名 = 690千円 通信運搬費 7千円	3,097	■11/30現在 申請受付:52件 ■入学祝い金:750千円 ■出産祝い金:1,350千円	1,890	第3子以降児の出生率を令和4年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	90%	【評価:B 計画より進んでいる】 11月末現在、第3子の出生率は、27件。	引き続き、第3子が出生した保護者に対し祝金を支給し、経済的負担の軽減を図る。	子育て支援課		
39 子育て世代包括支援センターの整備①	子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれ別の時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て支援プランの提供等を行う。	67	■子育てプラン配布:妊娠届出者全員 ■乳幼児健康診察受診者全員(66%) ■子育て支援プラン作成:妊娠届出時や産婦訪問時等に必要と判断した人全員(年間目標45人 実績26人) ■町内関係機関と情報共有:(年間目標6回 実績 子育て支援センターとの会3回計9回)	36	○子育てプラン配布:妊娠届出者全員 ○乳幼児健康診察受診者:全員 ○子育て支援プラン作成:妊娠届出時必要と判断した人全員(45人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の回数:年6回 ○産科医療機関との会:1回	66%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 概ね計画通りのプラン件数を作成でき、支援の必要な対象者へのフォローができてきている。	引き続き、支援が必要な対象者へ支援プランが提供できるよう継続していく。	子育て支援課		

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備② 40	産前産後サポート事業 産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等につ いて、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤 立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなど、個 別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナ対応による電話訪問も含 む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナ対応で中止する場合あ り。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用 者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,756千円、消耗品費 10千円、備品購入 費 165千円	2,931	■産前産後サポート事業アウトリーチ型: 36件 ■産前産後サポート事業デイサービス型 赤ちゃん広場8回 ハイハイ広場7回 プレ ママ広場4回 計20回	1,838	アウトリーチ型:年 48件(延) デイサービス型: 赤ちゃん広場12 ハイハイ広場12 ママ広場12回 計36 回	66%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 必要な対象者へのサポート支 援は行うことができている。対 象者から、「保健師さんから の電話があり安心感があつ た」との評価も聞かれた。 引き続き、支援を実施してい く。	引き続き、産前産後サポート 引き継ぎ、産前産後サポート 引き継ぎ、産後ケアや産前 産後ヘルパー派遣が必要な 対象者が、安心して受けられ る支援を構築し、継続してい く。	子育て支援課
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③ 41	産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中來所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子來所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報酬 24千円、旅費12千円、委託料 213千円 (ヘルパー派遣・シヨートステイ・デイサービス等)	249	■産後ケア事業訪問型6件 ■デイサービス型:25件 ■産前産後ヘルパー派遣:0回	381	訪問型:5件 宿泊型:2件 デイサービス型:10 件 ヘルパー派遣事業 7回	100%	【評価:A 達成済又は事業完 了】 産後に子育て不安を抱える産 婦や、支援者がおらず孤立し て育戻する産婦への支援とし て利用が増加している。 新生児訪問等により、引き継 ぎ対象者の把握に努めてい く。	引き続き、産後ケアや産前 産後ヘルパー派遣が必要な 対象者が、安心して受けられ る支援を構築し、継続してい く。	子育て支援課
不妊治療費 助成事業 42	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み37件 3245千円 ◆人工授精費 見込み4件 26千円 ◆不育症治療費 見込み1件 50千円	3,321	【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 11件 ◆人工授精費 6件 ◆不育症治療費 0件	953	利用件数 特定不妊治療37 件、人工授精4件、 不育症治療1件	40%	【評価:C 計画どおりに進ん でいる】 新規に申請される夫婦もあ り、申請数は順調に伸びてい る。	R4年度から不妊治療の保険 診療化に伴い町の助成対象 や金額等が変わったため、周 知を行い不妊治療を行う夫婦 への支援を継続していく。	子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI	評価	R5 実施方針	担当課
43 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。調整役としてアドバイザー1人配置に係る費金。 事業PR、会員の確保。 ◆職員賃金等 2,308千円 ◆講師謝金、消耗品、郵送料 31千円 ◆活動保険料 85千円	11/30 実利用者数 10人	1,429	実利用者数の増。 年間実利用者数を前年の1.5倍とする。 (8人×1.5=12人)	66%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 11/30現在、R4年度新規依頼会員数は13人、提供会員は1人増	引き続き提供会員を増やし、依頼に対応できるような環境整備をしていく。	子育て支援課	
44 病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育: 61人(R3実績) (定住自立圏構想での取組。事業委託者: パール園。実施場所: 県立厚生病院) 対象者: 在園児及び小学校3年生以下 639千円 ◆病後児保育: 16人(R3実績) (定住自立圏構想での取組。事業委託者: 十字会。実施場所: 野島病院) 対象者: 在園児及び小学校3年生以下 803千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	利用者数 ◆病児保育: 延べ31人(実9人) ◆病後児保育: 延べ4人(実3人) ※9月末時点	0	利用者数 病児保育 61件 病後児保育 16件	45%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 全体利用は例年通りのペースで進んでいる。病児保育については、定員超過で利用できないケースが毎月数件ある。引き続き、新たな施設整備について検討を進める。 達成率: 35人(実績)÷77人(目標)=45%	仕事と子育て両立支援として定着しているため、現2施設は引き続き定住自立圏で取り組む。新たな施設整備について、早期実現を目指す。	子育て支援課	
45 SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	令和4年度母子手帳交付数(妊娠届着者数) 74件 令和4年度新規登録者数48(全登録者数)	165	子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。	50%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 妊娠婦や子育て中の保護者に対し、母子手帳アプリを活用した情報発信ができてい、登録者数も増加している。	子育て支援センター事業の一環として継続していく。	子育て支援課	
46 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1: 625千円、羽合第2: 662千円、東郷第1: 442千円、東郷第2: 539千円、泊: 434千円、放課後児童クラブ運営委託事業: 54,860千円	各児童クラブ利用実人数 羽合第1: 68人 羽合第2: 158人 東郷第1: 105人 東郷第2: 55人 泊: 70人	31,908	利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3ヶ月利用について100%とする。	66%	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 現時点で利用希望者全員が利用している。	引き続き放課後の時間帯の子どもを受け皿を確保し、子どもの健全な育成に努める。	子育て支援課	

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	【放課後子ども教室推進事業】 町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。 放課後に週1回(月3回程度を予定)と夏季休業期間中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費:1,013千円 ◆消耗品:40千円 ◆通信運搬費:13千円 ◆保険料:70千円 計:1,136千円	1,136	各小学校の空き教室等を利用し、月3回程度で教室を開催した。児童が放課後を安心、安全に過ごすことのできる環境整備、学習習慣の定着。 ◆参加児童 羽合小:17名(1年生)、泊小16名(1~3年生)、東郷小:20名(1・2年生) ◆指導者:18名(教員OB、元役職員などの地域の方) ◆実施回数:18回(11月末現在) 今年度の事業を始める前に「ゆりはま自主学習の広場連絡協議会」を各教室ごとに開催し、連携しながら事業を進める体制づくりに努めた。参加者は、学校、指導者、放課後児童クラブ支援員代表、事務局担当者。	574	連絡協議会を開催した上で各小学校等でも教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 ◆参加児童数を50名とする。(対象児童の20%)	100%	【評価】A 達成済又は事業完了 【評価】B 達成率:53人(参加児童数)/50人(目標人数)=100%(106%)	R5 実施方針 対象者の2割程度としている 参加児童の維持を目指す。 (羽合小、東郷小20名程度、泊小10名程度) 各教室とも6名程度の指導者を目標とし、充足することができているので、今後も指導者の安定的確保を目指す。 連絡協議会を開催し、関係者が連携しながら事業を進める体制づくりに努める。	教育総務課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健康やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 R4年度も継続して羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,559千円、消耗品費 120千円	2,679	平日の放課後や週末など、子どもたちの安心・安全な居場所、活動拠点を確保し、学習支援や様々な体験活動の機会を提供した。4月から東郷地域、羽合地域において4教室を開催し、地域の方々の協力を得ながら事業を実施した。東田後区寺子屋教室については、令和3年1月以降新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止中。 【R4参加延人数】(11月末時点) (R3) ながせキッズくらぶ 11人 (28人) 舎人放課後子ども教室 188人 (223人) 大介といっしょ 35人 (84人) 橋津子ども塾 335人 (541人) 合計 569人 (876人)	671	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,000名以上とす	28%	【評価】C 計画どおりに進んでいる それぞれの教室で事業が実施され、子どもたちの居場所の提供、学習支援、体験活動などが実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の教室が開催を中止したり、参加者が減少したりしており、目標の達成が見込めない状態である。	生涯学習・人権推進課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI	評価	R5 実施方針	担当課
49 ゆりはま自主学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	【地域未来塾推進事業】 町内在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施する。 基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すもので、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国の『学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金:446千円 ◆消耗品:22千円 ◆郵送料:14千円 ◆保険料:40千円 計:522千円	522	湯梨浜中学校1年生22人の参加を得て、平日6回、土曜6回の計12回開催した(11月末現在)。 地域住民11名が学習支援員として登録し、そのうち9名が実際に支援にあっている。 5月から2月までに各月2回、計20回開催する予定とされていたが、5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止とした。(計画を変更し、2回減の計18回とした。) 参加生徒は毎回集中して学習に取り組み、支援者は机間巡視しながら生徒に声かけを行っている。	187	基礎学力と学習習慣の定着を図るため、運営委員会開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施する。 ・参加生徒数を対象生徒数の約20%を目標とする。	70%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 参加生徒は落ち着いて意欲的に学習に取り組むことができている。関係も良好である。今後も生徒の基礎学力の定着に寄与していきたい。 -実施回数:8回/18回 -参加率:22人/156人×100 =約14%(1年生:156名) -達成率:14%(実績)÷20%(目標)=70%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 参加生徒は落ち着いて意欲的に学習に取り組むことができている。関係も良好である。今後も生徒の基礎学力の定着に寄与していきたい。 -実施回数:8回/18回 -参加率:22人/156人×100 =約14%(1年生:156名) -達成率:14%(実績)÷20%(目標)=70%	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一体的に進めていく中で、学校の応援団としての学校支援ボランティア活動をさらに充実させていく。また、持続可能な活動となるよう若年層のボランティアを増やしていきたい。	教育総務課
50 学校支援ボランティア事業 の推進	【地域による学校支援推進事業】 各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア活動の内容に対しては、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 105千円	105	登下校の戻り活動はもとより、環境整備、学習支援、行事の支援などでボランティア活動が行われ、子どもたちの学び、成長、安全確保等に大きく寄与している。地域学校協働活動推進員を中心にボランティアのメンバーにも広がりが出てきている。	79	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 ・小中学校で230名の登録を目標とする。(令和7年度までに250人の登録を目指す。)	98%	【評価】B 計画より進んでいる 羽合小:50人、泊小:57人、東郷小:115人、湯梨浜中:3人の計225人を学校支援ボランティアとして登録している。今後、湯梨浜中で郷土芸能活動を実施予定であり、目標の230人を超えるボランティアが登録する見込みである。 ・達成率:225人(実績)÷230人(目標)=98%	【評価】B 計画より進んでいる 羽合小:50人、泊小:57人、東郷小:115人、湯梨浜中:3人の計225人を学校支援ボランティアとして登録している。今後、湯梨浜中で郷土芸能活動を実施予定であり、目標の230人を超えるボランティアが登録する見込みである。 ・達成率:225人(実績)÷230人(目標)=98%	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一体的に進めていく中で、学校の応援団としての学校支援ボランティア活動をさらに充実させていく。	教育総務課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI	R5 実施方針	担当課
51 ふるさと教育の推進	<p>【ふるさと教育推進事業】 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充するため、各小中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 ・羽合小学校：体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)、交流学習(町内高齢者等との交流、町を元気にする活動ほか) 124千円 ・泊小学校：体験活動(水産教室、泊目がら筋伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)、食育(とまり食の恵ほか) 99千円 ・東郷小学校：体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験、龍踊りほか)、環境教育(サケ飼育) 57千円 ・湯梨浜中学校：湯梨浜町調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 120千円</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、計画どおりにふるさと教育を進めることができません。可能な方法で地域学習を行っている。 月単位と湯梨浜町についてのアンケートは12月頃に実施予定。 ・羽合小：命の大切さを考える学習(助産師来校)、町を元気にする活動(アロハ委員会)、くらしを守る防災、町探検 ・泊小、泊目がら筋、梨づくり、和楽器体験、水産教室、GG体験 ・東郷小：梨づくり、東郷池・周辺体験活動(カヌー体験、池ウォーク)、龍おどり ・湯梨浜中：ふるさと探求「湯梨浜町調べ」(各所訪問)、職場訪問学習</p>	400	各学校でふるさとに愛着を持つ児童の育成をめざし、各種事業等を実施する。 アンケート目標92%以上。	0%	【評価】D 計画より遅れている 今年度も外部講師の招聘などが困難であり、各学校が可能な方法で補助金等を活用しながら地域学習を進めている。 ・事業実施：14回/33回 ※アンケートは12月に実施予定のため、達成率は0%	コロナ禍ではあるが、各校で活動の内容方法を工夫し、実施している。今後さらに活動の方法などを工夫し、児童生徒がふるさとに愛着をもてるような活動を計画していく。	教育総務課
52 小学校社会科副読本作成事業	<p>【社会科副読本作成事業】 町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から醸成していくため、また、社会科の学習時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成し、授業等で活用することによりふるさと教育の推進を図る。 改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。(出席者：小学校社会科教師等) ◆報償金：2,400円×3名×2回＝15千円 ◆印刷費：412千円</p>	<p>町内小学校3年生を対象に、年度初めに社会科副読本を配布した。 各小学校において、3・4年生の社会科の学習を中心に副読本を活用している。 副読本を授業のきっかけづくりに活用し、教材開発をしている指導者もいる。 8月に第1回編集委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とし、10月7日に実施した。現在は令和5年度の副読本の発行に向けて資料作成に取りかかっている。 第2回の編集委員会を2月頃に開催する予定にしている。</p>	0	改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。	50%	【評価】D 計画より遅れている 学校が副読本を活用して、湯梨浜町を題材に学習を進めることができている。 ・達成率：編集委員会1/2回開催＝50%	授業で十分に活用してもらえない副読本となるよう学校の意見を聞きながら、わかりやすさや内容の充実を意識し、副読本を作成する。	教育総務課
53 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	<p>生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円</p>	<p>男女共同参画推進企業数 新規1社認定 累計19社 男女共同参画環境づくり奨励事業補助金交付 1社</p>	50	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数：19社(前年比1社増)	100%	【評価】A 達成済又は事業完了 男女共同参画認定企業が1社増加したこと、当面の目標は達成したが、引き続き企業訪問など制度の周知を行って認定企業数を増やしていく。	今後も鳥取県等の関係機関と連携し、企業訪問等を行うことで、更なる認定企業数を増やしワーク・ライフ・バランスを推進していく。	企画課

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	目標	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
54 地域で取り 組む介護予 防活動推進 事業	①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらったため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。 ②導入した認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを活用して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、筋力トレーニングや脳活トレーニング事業、地域サロン等、個々の状態に合わせた事業を提案するとともに、事業実施前後の個々の状態を評価し個別の心身状況に応じた適切な事業等を提案していく。 ◆脱フレイル大作戦 1,945千円 ◆脳活トレーニング事業 2,756千円 ◆筋力トレーニング事業 8,756千円 ◆ミニデイサービス事業 2,614千円	16,071	①・5/20原あじさい会へ補助金サロン実施について助成→8/24申請済。 ・5/24～上浅津(ゆりりんメイト)に短期集中サロン実施助成→10月から実施予定もコロナ禍の影響で延期となる。 ・5/20和老田高齢者クラブ会長へ、8/8長和老人クラブ役員会で短期集中サロン又は補助金サロンの冬場実施について助成→要検討となる。 ・5/25下浅津高齢者クラブへ短期集中、6/8藤津地区へ補助金サロン実施助成。 ・8/8久見地区区長へ補助金サロン実施助成。 ・8/24久留西老人クラブへ補助金サロン助成。 ・9/22宇野老人クラブへ補助金サロン助成。 ・10/12藤津老人クラブ、上浅津高齢者クラブへ補助金サロン助成。 ・10/25上浅津老人クラブ、松崎老人クラブへ短期集中サロン及び補助金サロン助成。 ・10/31宇野老人クラブへ補助金サロン再開助成。 ②各種プログラムを実施し、介護予防事業の動員や脳活トレーニング事業等委託事業での個別指導に活用した。 ・フレイル評価システムの実施:65歳以上の者に対し配布回収した基本アンケートリスト回答者2,789人に対しフレイル判定結果を個別通知した。 ・運動処方プログラムの実施:129人 ・物忘れ相談プログラムの実施:321人	7,120	【目標】 ①新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動を地域・団体を年間3団体を増やす。 ②導入したプログラムで3,200人(フレイル評価:2,600人、物忘れ相談プログラム:300人、運動処方プログラム:300人)以上の個別評価を実施する。	151%	【評価:A 達成済又は事業完了】 ①コロナ禍の影響もあつたが、ゆりりんメイトとも連携し補助金サロンや短期集中中ゆりりんサロンの未実施地区について積極的に勧奨した。(新規申請団体:橋津区サロン、橋津区GGクラブ、原あじさい会、白寿会(田後北部)、むつみ会(田後南部)、まめな会(上浅津)) ②コロナ禍の影響により、筋力等委託事業の参加者や、介護予防教室の開催等は例年に比べ少なく推移している。 3,239人/3,200人×0.5=51% 達成率:151%(①+②)	①コロナ禍であつても感染防止に留意しながらサロン性を周知啓発し、サロン未実施地区、サロン休止地区の再開について声掛けを継続していく。 ②関係課と連携し高齢者の集まり等の機会を活用し、各種プログラムの実施を積極的に行う。	長寿福祉課
55 歯・口の健 康づくり推 進事業	フッ化物洗口事業は、教育総務課に移管。協力しながら、歯・口の健康づくりを推進する。 健康推進課としての関わりとしては、 ①「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の原直しの確認を中部歯科医師会、県歯科衛生士及び中学校に依頼。修正後は、出向く。 ②説明会の要望があれば、出向く。 ③フッ化物洗口の評価を行う。	0	①【済】フッ化物洗口手引きを、中部歯科医師会、県歯科衛生士、学校歯科医、県歯科担当に確認し、修正したものを、学校歯科医、各小中学校に配布した。 コロナ予防のための項目を新たに追加した。 ②【未】現時点で、説明会の要望なし。 ③【未】毎年11月に実施される全国の歯科データ(学校保健統計調査)を評価に入れて、提出する予定。	0	①必要に応じた手引きの見直し(33.3%) ②必要に応じた説明会の開催(33.3%) ③フッ化物洗口の評価(33.3%)	33%	【評価:B 計画より進んでいる】 教育総務課と連携し、鳥取県歯科医師会とのフッ化物洗口推進レター(広報)に、湯梨浜町の小中学校におけるフッ化物洗口の効果を掲載。むし歯罹患率が年々低下してきていることを周知した。	教育総務課と連携、協力しながら、歯・口の健康づくりを推進する。 健康推進課としての関わりとしては、 ①「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の原直しの確認を中部歯科医師会、県歯科衛生士及び中学校に依頼。修正後は、各小中学校に配布する。 ②説明会の要望があれば、出向く。 ③フッ化物洗口の評価を行う。	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課	
					目標	達成率			
56 健康相談・ 健康教室等 の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) □年間開催予定数 149回(月・水曜日の週2回、年78回分の補助) 《健康増進事業》 ◆報償金(講師謝金) 390千円	390	□健康づくりのための水中運動を月曜日から木曜日に龍鳳閣で実施。 □参加延べ人数(10月末実績) 175 4月:新型コロナウイルス感染拡大により中止 5月:13回開催 延べ120名参加 6月:17回開催 延べ200名参加 7月:8回開催 延べ82名参加 8月:3回開催 延べ30名参加 9月:14回開催 延べ131名参加 10月:14回開催 延べ170名参加 計 69回開催 延べ733名参加 (うち月・水曜日の35回分を補助) ※1回開催当たり参加者 10.6人	175	【目標】 教室参加人数を1,350人以上 ※R3年度参加者数1,228人×1.1＝1,350人	54%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 広報紙への掲載ほか、役場や各支所、公民館などにチラシを配置し、周知に努めている。新規参加者もあり、引き続き参加者の増加に向け取り組んでいく。	R5 実施方針 水中での歩行は体への負担が少なく、高齢者等でも取り組みやすい内容であり、町民の健康づくりのため、引き続き事業を実施していく。長寿福祉課の参加費助成事業とも連携し、参加者の増加に向けて、周知方法を検討していく。	健康推進課
57 健康相談・ 健康教室等 の実施②	《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設等を利用して運動教室を開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。また、月1回運動教室と併せて、生活習慣病予防のための健康講座を開催し、町民の生活改善を促す。 《積立貯筋運動(健康づくり)事業》 年間開催予定数 189回 □ココカラ運動教室(火曜日) 42回 □つみたて貯筋運動東郷教室(水曜日) 50回 □つみたて貯筋運動泊教室(木曜日) 47回 □つみたて貯筋運動羽合教室(金曜日) 50回 ◆消耗品費 77千円 ◆通信運搬費 1千円 ◆委託料 2,805千円 ◆使用料及び借賃 315千円 計 3,198千円	3,198	□積立貯筋運動事業(10月末実績) ○ココカラ運動教室 21回開催 延べ201名参加 ○つみたて貯筋運動東郷教室 26回開催 延べ144名参加 ○つみたて貯筋運動泊教室 25回開催 延べ190名参加 ○つみたて貯筋運動羽合教室 21回開催 延べ117名参加 計 93回開催 延べ652名参加 ※1回開催当たり参加者 7.0人 □新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月はほとんどの日程が中止となった。 652名/2,270名(R4目標) = 28.7%	117	【目標】 教室参加延べ人数を2,270人以上 ※R3年度実績参加人数1,039人/99回＝1回あたり10.5人 ※R4年度目標 1回あたり12人×開催予定回数189回＝2,270人	29%	【評価:D 計画より遅れている】 広報紙への掲載のほか、運動教室カレンダーを年度の前期と後期に作成し、全戸配布による周知を図っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、参加者は減少しており、さらなる周知や個人への声掛けが必要である。	現在の教室内容について、他課とも連携しながら、参加者の増加につながるよう見直しを進めていく。また、継続的に広報活動を実施するほか、健康相談や健診結果説明会、窓口での啓発を強化していく。	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI	R5 実施方針	担当課
58 健康相談・健康教室等の実施③	居住地区周辺でのウオーキング教室開催により、ウオーキングの習慣化を図り、町民の健康増進、健康意識の向上に努める。 ◆定例教室 3回 ◆自治会・事業所 3回 《ノルディックウオーキング教室事業》 ◆委託料 112千円	112	□定例教室: 3回開催 【参加者数】 ①8/23: 13人参加 ②9/8: 13人参加 ③10/4: 10人参加 《ウエルネスウオーキング》 ウオーキング前後の血圧測定や、ウオーキング中の心拍をコントロールすることで、心と体の健康づくりを行うもの。 □自治会・事業所: 0回	0	【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウオーキング教室の参加者を90人とす る。 ※R4年度目標 1回あたり15人×開催予定回数6回=90人 R3実績: 0人 R2実績: 24人 R1実績: 61人	【評価】D 計画より遅れている 定例教室では、参加者が集まっているが、自治会教室・事業所の申し込みがなく、周知が必要である。	健康推進課
59 SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)	【地方創生推進交付金】 □タニタ健康プログラムの推進 □タニタ健康システムの運用 □タニタ健康プログラムの推進 《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 583千円 ◆消耗品費(ポイント景品) 2,541千円 ◆通信運搬費 437千円 ◆委託料 17,384千円 ◆使用料及び賃借料 5,962千円 (活動量計ID、サイト等 使用料) 計 26,907千円	26,907	□町報やホームページ、ワークスペース、接合会場や健診会場等での情報発信のほか、昨年度は四半期毎としていたアドバイスシートの送付を隔月送付で実施した。 ■タニタヘルスリンク管理栄養士を講師とした事業説明会兼セミナーを7月10日に開催。35人が参加。 ■新規参加に期間限定特典を設けたほか、事業勧誘を行った参加者に対するインセンティブを設定。継続意欲の持続に向け、新たなウェアサービスを会員用サイトに追加した。	32	【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を770名とする(R4)。 ※最終1,400名とする(R6)。	【評価】C 計画どおりに進んでいる 町報をはじめとする広報活動、参加者によるクチコミにより、事業参加者の数は徐々に増えてきている。ただし、コロナ禍での健康二次被害が進んでいるであろう高齢者(80歳以上)の獲得が進んでおらず、一般参加の拡大と併せて集客に工夫が必要である。 【参加者数】 673名(11月7日時点)	健康推進課

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課	
					目標	達成率			評価
60 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる「湯梨浜町版生涯活躍のまち」の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。令和4年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。</p> <p>◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,917千円(旅費549千円、役務費1,037千円。委託料6,331千円)</p>	7,917	<p>・R4年度は、つながらる地域づくり研究所に関係人口PR業務を委託。令和4年9月17日に、オンラインセミナーを実施。</p> <p>・関係人口交流体験プログラム事業(サマースクール)実施のためをNPOとまりに委託するも、新型コロナウイルス感染症拡大のため催行中止。</p> <p>・インターネット広告より夏の湯梨浜町を体験した記事を9/2に公開。9/30時点で7,832PV。</p>	0	<p>①県外からの移住者:185人(R4)、925人(R6)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R4)、35団体(R6)</p>	73.8%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①88/185=47.6%</p> <p>②1/1=100%</p> <p>※R4.4~R4.9末</p>	<p>R5 実施方針</p> <p>地方創生推進交付金については今年度で採択期間が終了するが、企業版ふるさと納税インセンティブ制度による2年間延長が新規事業採択により国庫補助による事業継続を図り、移住促進を強化していく。</p>	みらい創造室
61 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。</p> <p>【地域おこし協力隊】</p> <p>・まちづくり会社で活動(4名) 13,990千円</p>	13,990	<p>R4.11時点で4名在籍。</p> <p>総合相談センターどれみを拠点として、生涯活躍のまちに関する空き家利活用と情報発信を実施。</p> <p>■空き家の利活用(3人)</p> <p>毎月どれみでの空き家相談会を実施。相談会、建設水道課からの紹介などにより、3件の空き家情報バンク申請を支援。</p> <p>■イベント・情報発信(1人)</p> <p>地域おこし協力隊Facebook「ゆりはまフェローズ」で町の情報発信を行い、フォローが25人増加した。(R4.4.22時点545人⇒R4.11.14時点570人)R4.4.1よりインスタグラムでの情報発信開始。R4.11.14時点で138投稿、フォローワー210人。</p>	3,462	<p>①空き家対策担当:4件/人</p> <p>②イベント担当:2件/人・月</p>	47%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①R4年度空き家バンク申請件数:3件。</p> <p>②R4年度イベント開催件数:11件</p>	<p>R4.10月11月で空き家掘り出し担当を3人に増員しており、旧町村地区ごとの担当制として空き家活用を推進する。</p>	みらい創造室

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)	執行済額	目標 (推進交付金)	達成率	KPI 評価	R5 実施方針	担当課
町民総ス ポーツの推 進による一 人ひとりが 輝く生涯活 躍のまちづ くり	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>(1)健康なまちづくり事業調査委託料 9,726千円</p> <p>(2)トレーニングルームトレーナー配置・育成(地域おこし協力隊)(交付金対象外)</p> <p>(3)中央公民館泊分館トレーニングルーム運営</p> <p>トレーニングマシン教室(使い方教室) 144千円</p> <p>(働く世代 初級) 432千円</p> <p>" " (働く世代 上級) 432千円</p> <p>" " (女性向け) 432千円</p> <p>" " (高齢者向け) 1,868千円</p> <p>トレーニングマシンプログラム使用料 669千円</p> <p>(4)アンケート調査 600千円</p> <p>(5)みんなの元気推進会議開催 180千円</p> <p>(6)こども園児と中高生のスポーツ交流(子ども向け) 0千円</p> <p>(7)小学1・2年生を対象にしたスポーツ体験(子ども向け) 0千円</p> <p>(8)有名アスリートからの小・中学生向けのスポーツ指導(子ども向け) 1,000千円</p> <p>(9)「ゆりはま スポーツの日」開催(全町民対象) 600千円</p> <p>(10)新規スポーツ団体立ち上げ支援事業500千円</p> <p>(11)みんなのげんき館看板作成 50千円</p> <p>(12)トレーニングルーム施設・教室広報チラシ作成100千円</p>	16,733	<p>(1)関係職員とのヒアリング、働く世代の町民等193人に対し地域づくりに関するアンケート調査及びヒアリングを実施。また、げんき館に配属されている運動指導員に対してスキルアップのための研修を実施。その後、健康推進結果との関係課とアンケート調査結果の情報を共有し協議を行った。また、働く世代の代表者とまちづくりについて意見交換した。</p> <p>(3)トレーニングマシン教室(はじめてでも大丈夫)他6教室に延べ254人が参加。回答者は723人。</p> <p>(10)スポーツ活動を行う団体に対して活動に必要な用具等の購入費などを一部を支援する「町民スポーツ活動支援事業補助金」を創設。町報10月号、ホームページを通じて周知。1件問い合わせあり。</p> <p>(11)(12)実施済み</p>	776	<p>①成人の運動・スポーツ実施率(週1回以上)55%</p> <p>②町民大会・スポーツ教室の参加者数 807人</p> <p>③トレーニングルーム利用者数1,560人</p>	48%	<p>【評価: C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①6/1を基準日に町民の運動・スポーツに関する意識調査を2000人を対象に実施。うち723人から回答を得た。現在集計中。</p> <p>②10月末の参加者は376人</p> <p>③10月末の利用者は2,240人</p>	R5 実施方針	生涯学習・人権推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)		執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
			予算額	目標		達成率	評価		
63 縁結び支援 員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支援員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支援員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 81千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円 ◆えんとりー入会登録補助金 50千円	161	縁結び支援員 事業等により 婚姻した件 数：年1件	0%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 縁結び支援員については、下半期に町主催の情報交換会の開催を計画している。 えんとりー入会登録補助金については、令和4年度からの事業であるため、町報やホームページを通じて制度周知を図ることとする。	縁結び支援員に対し、引き続き婚活イベント等の情報提供を行うなど、マッチングの機会を増やし、成婚につなげていきたい。	企画課		
64 婚活イベ ント事業(広 域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200	広域連携による 婚活イベ ント(独身男女 の結婚に対す る意識改革や スキルアップ を旨指す「セミ ナー」や異性 の参加者全員 と交流を図る 「婚活イベ ント」の実施	60%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 感染症対策をしながら予定通りイベントが行われた。今後、以下のイベントを実施予定。 ■婚活交流会 12/11 ■スイーツ交流会② 1月 ■婚活個別相談会	コロナ禍ではあるが、中部市町と連携して感染症対策を施した上で可能な限りイベントを実施していきたい。また、男性と比べて女性の参加者が伸び悩んでいることから、イベントの内容や参加者の条件についての見直しも検討していきたい。	企画課		

(単位：千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	実績			KPI		R5 実施方針	担当課
			予算額	執行済額	目標	達成率	評価		
65 JUターナー 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 旅費384千円、需用費25千円、役務費50千円、委託料3,500千円、使用料及び賃借料3千円	3,962	0	移住について具体的な相談に入っている者数:5件	120%	【評価:A 達成済又は事業完了】 具体的な相談に入っている相談者6件(相談会0件、新規相談2件、昨年度からの継続相談等4件) 6件/5件=120%	移住就農の受け入れを増やすためサポート体制の強化を図る。	みらい創造室	
66 空き家情報 バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ◆通信運搬費 4千円	4	0	①空き家バンク物件成約数:1件	300%	【評価:A 達成済又は事業完了】 空き家に加えて「宅地」についても情報バンクに登録して活用を図るよう準備を進めており、一層の移住定住促進を行っていきたい。	引き続き空き家発掘担当の地域おこし協力隊や移住コーディネーターとの連携により、空き家登録物件の増及び移住希望者への適切な情報提供を行っていく。	企画課	
67 空き家対策 事業	①空き家改修事業補助金 町外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 上限:500千円(県外) 250千円(県内かつ町外) 補助率1/2 《R4予算額》補助金 500千円 ②空き家利活用流通促進事業 町内空き家を活用する町内の個人(転入予定を含む)に対し、空き家の改修費を補助する。 上限 住宅:500千円(中山間地は600千円) 非住宅:900千円 補助率 1/2 《R4予算額》補助金 2,000千円	2,000	0	移住希望者へ空き家提供:2件	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①空き家バンクに登録されている物件でも空き家所有者が改修費用を負担する物件が少なくはなっている。バンク登録者からの相談はあるが入居者未定のため申請には至っていない。 ②今年度より、中山間地にある空き家に係る補助の増額を実施。1件の交付申請(東郷地域)があった。	本事業は、移住定住の促進及び空き家活用に資する事業であるため、今後も引き続き支援制度の周知を図り、事業を実施していく。	企画課	

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)			KPI	R5 実施方針	担当課
		予算額	執行済額	目標			
68 移住定住者 住宅支援事 業①	県外の又又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R4予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×1件 移住定住1名500千円×1件	4,000	◆交付決定(9/22時点) 0件 0千円	県外からの転入者の定住:3件	【評価:D 計画より遅れている】 HP、町報等で周知しており、相談はあるものの、現時点で申請に至っていない。	今後引き続き補助制度の周知を図り事業を継続し、本町への移住定住の魅力を高めたい。	企画課
69 移住定住者 住宅支援事 業②	・移住定住者中古住宅修繕支援事業 中古住宅を購入し県外から町内に移住してきた者又は県外から町内に移住し中古住宅を購入した者で、移住から5年を経過していない者を対象に、購入した中古住宅の修繕費用の一部を補助する。 上限額:250千円 補助率:1/4 《R4予算額》 250千円×1件	250	◆交付決定(9/22時点) 0件 0千円	補助金利用: 1件	【評価:D 計画より遅れている】 HP、町報等で周知しており、相談はあるものの、現時点で申請に至っていない。	今後引き続き補助制度の周知を図り事業を継続し、本町への移住定住の魅力を高めたい。	企画課
70 町外者による「ゆりばま暮らし体験」 ポランティア ア1の宿泊 費助成事業	町内で移住定住希望者にポランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ポランティア受入者に報償費を支払い、ポランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ポランティア受入報償金 70千円 ◆ポランティア受入委託料(宿泊)42泊 301千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 4千円	401	ポランティア従事者4名受け入れ ◆ポランティア受入報償金 15千円 ◆ポランティア受入委託料(宿泊)0千円 ◆宿泊費補助 0千円 ◆通信運搬費 1千円	ポランティア 従事者:14名	【評価:D 計画より遅れている】 新型コロナウイルス感染症拡大状況により今年度当初は受け入れを中断していたが、6月中旬より再開。しかし、その後8月中旬に中部地域にコロナ警報が発令されたため、9月中旬まで再度受け入れを中断したことから、受入者数が伸び悩んでいる。	関係人口の拡大も期待できる事業であり、今後も受け入れ先の理解も得て事業を継続していく。また、ポランティア受入先の新規登録を増やすため、広報やホームページ等による周知も併せて行っていく。	企画課
71 若者夫婦・子育て世代 住宅支援事 業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×42件=21,000千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×21件=2,100千円 新築・購入(土地開発公社)2件 2,000千円 合計 44件、25,100千円	25,300	◆交付決定(R3債務負担含) 59件 31,781千円 新築・購入 32件 16,000千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 24件 12,781千円 3件 3,000千円 ◆交付済額 33件 17,024千円	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:44件	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 今年度事業完了予定の申請が目撃に達している。	新築等の割合が少ない東郷・泊地域等(中山間地域)の補助金を高上げしていることについて、広報も充実させながら、今後とも継続して実施していく。	企画課

事業名	計画	実績 (11月末現在)		KPI		R5 実施方針	担当課
		予算額	執行済額	目標	達成率		
72 結婚新生活 支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用に対して補助金を交付。 新築・購入 750千円×2件=1,500千円	1,500	0	◆交付決定 0件 新婚夫婦の定住:2件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 婚姻届を提出された方へチラシを渡したり、若者夫婦・子育て世代補助金の提出をされるハウスメーカーに都度対象にならないか確認しているが、現時点利用に至っていない。	企画課
73 三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 ① 中山間地域分 600千円×1件 ② ①以外 500千円×1件	1,100	500	◆交付決定 6件 新たな三世帯家族の定住:2件	300%	【評価:A 達成済又は事業完了】 本事業は新築、購入以外に、改築、リフォームも対象である。利用しやすい補助金である。問い合わせ、申請が増えているため、引き続き制度の周知を図っていく。	企画課
74 移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×2人 300千円 ■県外からの移住者がパーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 10千円×1人 10千円	310	0	◆県外からの移住者の免許取得:2人 ◆県外からの移住者のパーパードライバー講習受講者:1人	33%	【評価:D 計画より遅れている】 HP、町報等で周知しており、相談はあるものの、移住者の免許取得申請には至っていない。	企画課
75 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬の一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×7件 910千円	910	456	◆交付決定 7件 663千円 ◆交付済額 5件 456千円	71%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 HP、町報等で周知を行っている。5件の申請があり、転入済である。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済額	目標	達成率	KPI	R5 実施方針	担当課
76 お試し住宅 運営事業	【地方創生推進交付金】 古民家を活用したお試し住宅と、街なかには新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらおうとともに、空き家の有効活用、関係人口や移住定住を検討者との地域住民の交流による地域活性化及び移住定住促進について、指定管理者である湯梨浜まちづくり財団と連携しながら図る。令和4年度は、もりた屋の屋根及び外壁を修繕する。 修繕料200千円、指定管理委託料6,040千円(どれみ含む)、工事請負費2,090千円	【利用実績】 もりた屋:2件 まつざき屋:4件 新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月～5月末まで事前のPCR検査等を条件に利用制限。 予約受付はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大と利用条件提示によるキャンセルなどにより利用実績は伸びず。 【改修工事】 R4.8.31もりた屋外装改修工事了。	5,704	お試し住宅利用 件数:42件	14.2%	【評価】D 計画より遅れている 利用6件/42件≒14.2%	R5 実施方針 移住促進のため2施設のPRを強化し利用増を図る。	みらい創造室
77 〈再掲〉 ふるさと奨学金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金) 奨学金支援助成金事業	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆助成中2人(82千円) ◆新規4人(240千円)	継続認定者 2件 新規認定者 0件 町HPIに制度の概要を掲載するとともに、県のHP上においても周知してもらっている。 今後、町報による周知も予定している。	0	申請者(新規) 4人	0%	【評価】D 計画より遅れている 県と協力しながらHP等により制度周知を行っているが、新規申請者なし。 新規申請者:実績0人/目標4人=0%	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町に定住する方について、県の制度も周知し、今後は県とよく連携を図りながら制度の周知に取組んでいく。	教育総務課
78 〈再掲〉 全世代・全活躍型「生涯活躍のまち」事業 生涯活躍のまち①地域の推進 【II:②地域福祉の推進(記載あり)】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進している。令和4年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,917千円(旅費549千円、役員費1,037千円。委託料6,331千円)	・R4年度は、つながる地域づくり研究所に関係人口PR業務を委託。令和4年9月17日に、オンラインセミナーを実施。 ・関係人口交流体験プログラム事業(サマースクール)実施のためをNPOとまりに委託するも、新型コロナウイルス感染症拡大のため進行中止。 ・インターネット広告より夏の湯梨浜町を体験した記事を9/2に公開。9/30時点で7,832PV。	0	①県外からの移住者:185人 (R4)、925人 (R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体 (R4)、35団体 (R6)	73.8%	【評価】C 計画どおりに進んでいる ①88/185=47.6% ②1/1=100% ※R4.4～R4.9末	地方創生推進交付金については今年度で採択期間が終了するが、企業版ふるさと納税インセンティブ制度による2年間延長が新規事業採択により国庫補助による事業継続を図り、移住促進を強化していく。	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済額	KPI		R5 実施方針	担当課
				目標	達成率		
79 全世代・全 島活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進①	・生涯活躍ポータル「カラフル」出展(地方創生推進) 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体(北海道東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜町、南部町)が連携して東京に相談窓口を設置して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を実施する。	・R4.5.20カラフル出展自治体会議(オンライン)を実施。 ・R4.4~R4.8までの相談者数:10名 ・リーチ数:10,216	0	①県外からの移住者:185人(R4)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R4)、35団体(R6)	73.8%	引き継ぎ、他の自治体と連携しながら生涯活躍のまちの情報発信を積極的に展開する。	みらい創造室
80 (再掲) 全世代・全 島活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【II:②地域 福祉の推進 にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 13,990千円	R4.11時点で4名在籍。 総合相談センターどれみみを拠点として、生涯活躍のまちに関する空き家利活用と情報発信を実施。 ■空き家の利活用(3人) 毎月どれみでの空き家相談会を実施。相談会、建設水道課からの紹介などにより、3件の空き家情報バンク申請を支援。 ■イベント・情報発信(1人) 地域おこし協力隊Facebook「ゆりはまフェローズ」で町の情報発信を行い、フェローが25人増加した。(R4.4.22時点545人⇒R4.11.14時点570人)R4.4.1よりインスタグラムでの情報発信開始。R4.11.14時点で138投稿、フォローワー210人。	3,462	①空き家対策担当:4件/人 ②イベント担当:2件/人・月	47.1%	R4.10月11月で空き家掘り起し担当を3人に増員しており、旧町村地区ごとの担当制として空き家活用を推進する。	みらい創造室
81 全世代・全 島活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての町営住宅建替えについて、新長江団地の実施設計、新築工事、移転等を実施。 ●松崎地区町営住宅建設事業(PFI)委託料(444,953千円) ●消耗品費(50千円) ●通信運搬費(36千円)	■建替事業について、令和3年10月26日に契約締結した。令和4年度は、新・長江団地(仮称)の実施設計と新築を実施(令和4年12月完成予定)しており、順調に進んでいる。また、新・上町団地(仮称)の実施設計を実施している。 ■移転事業について、建替え対象の団地(上町、堀の内、桜(一部))の入居者に対して、令和4年8月に説明会を開催し、10月に移転先を決定した。今後は、各入居者の移転料見積りを行い、令和5年1月から移転を開始する予定。	145,057	①県外からの移住者:185人(R4)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R4)、35団体(R6)	73.8%	令和6年度までの事業スケジュールに沿って実施する。	町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	KPI		R5 実施方針	担当課
				達成率	評価		
82 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画で行う。 【R4年度 募集予定】 ◆関係人口促進担当 1名(産業振興課) ◆健康づくり担当 2名(生涯学習・人権推進課) ◆まちづくり推進担当 2名※うち1名は現隊員の後任) ◆コミュニティゲーター 1名	【R4年度任用者】 ◆関係人口促進担当:1名 ◆まちづくり推進担当:3名	0	67%	【評価】C 計画どおりに進んでいる。 関係人口促進担当、まちづくり推進担当計4名の任用ができた。協力隊員が決まらなかった区分について、随時募集を続けている。	各課に積極的な地域おこし協力隊の活用を促すとともに、協力隊員の待遇改善を行いたい。	企画課
83 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 6千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金3件 5,400千円 ①小鹿谷区 1,300千円 ②原区自治会 2,000千円 ③国信自治区 2,100千円 ※6月補正予算計上	◆交付決定済 3件 5,400千円 ①国信自治区 2,100千円 ②原区自治会 2,000千円 ③小鹿谷区 1,300千円	2,000	67%	【評価】C 計画どおりに進んでいる。 令和4年度採択自治区に対し交付決定手続きを行った。また8月末には次年度の募集案内を実施した。	助成を行った各区において、地域の活性化等に寄与している。今後も引き続き事業の広報を行いながら、各区に助成制度の活用を促し、コミュニティ活動の推進に努めたい。	企画課
84 地域のにぎわいを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステッ事業	まちづくり創造事業・ステッ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステッ事業) ◆役員費 2千円 ※県費・市町村交付金(1/2)	◆まちづくり創造事業 交付決定済 1件 ◆まちづくりステッ事業 交付決定済 1件	200	100%	【評価】A 達成済又は事業完了 引き継ぎ制度の周知や働きかけを行ってまちづくり団体の育成していききたい。	協働の町づくりの推進に向け、引き継ぎ制度の周知を図っていく。	企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)		執行済	目標	KPI		R5 実施方針	担当課
			実績	達成率			評価	達成率		
85 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織維持管理交付金 ・防犯灯設置等交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金計 37,517千円 ◆通信運搬費 64千円	37,517	・集落運営交付金(全75区)、防犯灯維持管理交付金(73区)、区長等事務費交付金について、支払い済。 ・集落活性化事業交付金、自主防災組織運営交付金、防犯灯設置等交付金については、随時交付手続きを実施。 ◆補助金 28,087千円 ◆通信運搬費 43千円	74%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルスの影響による事業の縮小で、確定額が交付決定額を下回る区が多く見られる。	集落づくり総合交付金:76地区(従来75区+レークサイドヴィレッジ1区)	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルスの影響による事業の縮小が懸念される。	各区の活動の維持・活性化に寄与しており、引き続き推進していきたい。また各区が抱えている課題の把握を目的に今年度実施した集落づくりアンケートを基に予算措置を含め本制度の見直しを行い必要な措置を実施していきたい。	企画課	
86 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,573千円 ◆役務費 6千円	3,579	12地域全てから申請を受け、交付決定および概算払をしている。(うち、2地区については額を確定済) ◆補助金 2,368千円 ◆役務費 3千円	66%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新型コロナウイルスの影響による事業の縮小が懸念される。	地域にぎわい創出補助金:12地域	【評価:A 達成済又は事業完了了】 新規団体の登録が11月末までに3件あり、この他にも1件の申請相談を受けている。またホームページに登録団体の紹介ページを作成した。	各地域の活性化に寄与しており、引き続き取り組んでいく。	企画課	
87 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 17団体 593千円 ◆消耗品費 24千円 ◆通信運搬費 5千円	582	交付決定済 14件 うち3団体については、活動に係る資金の概算払いの要望があったため、支払済。 ◆補助金 224千円 ◆消耗品費 0千円 ◆通信運搬費 1千円	150%	【評価:A 達成済又は事業完了了】 新規団体の登録が11月末までに3件あり、この他にも1件の申請相談を受けている。またホームページに登録団体の紹介ページを作成した。	NPO法人、ボランティアグループの数の3団体増 ※助成金を交付した団体	協働のまちづくりを推進するため、引き続きボランティア団体の育成支援を広げていく。	企画課		

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (11月末現在)		執行済	目標	達成率	KPI		R5 実施方針	担当課
			回数	実績				評価	評価		
88 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。 ◆報酬 2,123千円 ◆期末手当 407千円 ◆社会保険料 336千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 51千円 ◆消耗品 80千円 ◆通信運搬費 10千円	3,017	◆全体 10回 ■研修 9回 5月 泊3区、長瀬中央区 6月 橋津区、白石区、はごろも苑 も 上浅津保健福祉会、ながせこども園 7月 田後区 9月 泊小学校 ■原子力広域避難(米子市富益地区)防災講習	1,415	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。	67%	【評価】C 計画どおりに進んでいる コロナ禍により研修会の開催を控えている集落もあるが、これまでの2年間とは異なり、感染の収束状況を見ながら、実施する集落が増えてきた。また、自治会を中心に講習を行ってきたが、実績が認知され、教育施設や福祉施設からも申し込みに受けるようになってきた。	総務課	R5 実施方針 引き続き各集落や施設に出向き、自助共助の防災意識高揚のための研修を実施する。		
89 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただき、実施を呼びかける。	2,000	▼2地区実施 ・5月実施 田後南部・北部 666千円 ・6月実施 宮内 411千円	1,077	バリアフリー改修5地区	54%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 目標5地区に対し、2地区実施済。金額ベースでは54%実施済。	総合福祉課	引き続き、各区へバリアフリー改修について事業内容や案内するなど、必要性を検討いただいたり、実施を呼びかける。		
90 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。また、令和3年度から対象者を拡大した高齢者へのタクシー料金助成事業について、令和4年度よりタクシー乗車券の使用方法が変更されたことについて周知を行い、運転免許を持っていない高齢者の移動手段の確保を図る。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業・高齢者タクシー料金助成事業以外の移動手段について協議を進める。 ①のりあいバス運行事業に対する補助金 補助金 304千円 ②高齢者タクシー料金助成事業 消耗品費 0千円(令和3年度予算で購入した乗車券があり、令和4年度申請者見込分が用意できていない為) 扶助費 3,020千円	3,324	高年齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新中 窓口設置、相談者、ケアマネジャーへ配布(予定) ①乗り合いバス運行事業 登録者:34人 利用者:33人 運航日:毎週金曜日 2路線運行 【泊→羽合(1便)、東郷→羽合(2便)】 社協:各種研修会、保健福祉会、サロン活動等で周知 ②高齢者タクシー料金助成事業 申請者:244人 本年度より、乗車券の利用方法を変更したことと利便性が向上し、申請者の増加につながった。 年度途中に対象となられた方へ向け、町報などで周知を行った。	①0 ②968	①社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う ②利用者を250人以上とする	86%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 地域支え合いの手引きの更新の準備中。新たな情報等を収集している。 ①乗り合いバスに関しては登録者は34人、利用者は33人となり減少している。 ※33人/45人×0.5=37% ②乗車券の使い方が柔軟になり新規申請者増加につながった。 ※244人/250人×0.5=49% 達成率①+②=86%	長寿福祉課	引き続き地域支え合いの手引きの更新を行い、買い物等不便者の解消を図る。 今後も高齢者の移動手段の拡充のための情報の収集や関係課との連携、協議を進めていきたい。 高齢者タクシー料金助成事業は町民からの意見を取り入れ、改善を勧めると同時に、事業の周知を行う。		

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)		執行済	KPI		R5 実施方針	担当課
		予算額	達成率		目標	達成率		
91 小さな拠点事業の推進	令和3年度に地域活動団体が設立され、目標を達成したため、事業完了とする。	36	0	0	—	—	—	みらい創造室
92 ICT推進事業①	行政インフラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 62千円	62	37	37	—	12.5%	DX関連、特にアプリケーションの共同調達などで今後、市町村間の協議が活発になると見込まれるため、今後も積極的な活用を促していく。	企画課
93 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	272	135	135	—	52%	電子申請可能な手続の増加により、住民の利便性の向上とシステムの有効活用による事務負担軽減を図っていく。	総務課
94 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及びび大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。 令和3年度に応募の申込を行ったが、不採択となった。令和4年度は申込を奨励したが、町の主催するセミナーやツアーについて、過去にフィールドスタディに参加した学生と連携して取り組むことにより、町との関係深化を図りたい。	0	0	0	—	0%	新たに鳥取大学との連携協定を調整し地域課題解決、地域活性化のためのプロジェクト展開を図る。	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (11月末現在)	執行済	目標	達成率	KPI	R5 実施方針	担当課
95 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。	寄附者へのメルマガ送付9回 最新お知らせ情報51回 パンフレット・DM送付(春・秋)16,500部 寄附者数5,647人 寄付金額91,768千円 寄附者への定期的なメルマガ送信、パンフレット送付により、返礼品の情報を提供し、リピーターとなつてもらえるよう働きかけを行っている。	29,886	メルマガ等による 情報提供 年 100回以上 寄附者数 毎年 10,000人以上 (R3 8,321人 R2 9,126人 R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)	56%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 上半期において、寄附者への返礼品情報提供等の働きかけをおこない、寄附金額は前年度比110%、寄付件数は前年度比101%で推移している。今後、寄附が集中する年末に向けて、ふるさと納税PRに注力していく。	ふるさと納税は、各種事業を実施する上での貴重な財源であるとともに、返礼品を通じて町産業の振興を図る機会と捉え、各種サイト・カタログ等を活用したPRに注力していくとともに、メルマガ等を活用した寄附者への定期的な情報提供により、リピーターと関係人口の増加に努めていく。	総務課
96 企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。 ・トップセールス旅費266千円 ・消耗品費・通信運搬費20千円 ・PRチラシ印刷製本費52千円 ・専門サイト掲載料金330千円 ・基金積立金501千円	■企業版ふるさと納税専門サイト「ふるさとコネク」に、「グラウンド・ゴルフ国際化プロジェクト」と「ゆりはまフェローズ1万人プロジェクト」に係る寄附金募集について掲載した。 ■8月、鳥取県中部の工務店等14社を訪問し、「ゆりはまフェローズ」を核とした関係人口推進事業」についての寄附を呼びかけ、2社から200千円受領した。	53	寄附を3,000千円以上受領する。	7%	【評価:D 計画より遅れている】 県外の企業からの寄附がない状態であるため、「ふるさとコネク」に掲載している事業の関係企業に対し、個別に呼びかける必要がある。	民間マッチングサービスの導入と、トップセールスを計画的に進め、県外企業からの寄附金増額を図る。	みらい創造室
97 ゆりはまフェローズを核とした関係人口推進事業	【地方創生推進交付金】 地域おこし協力隊によるFacebookのフォローや、町イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェローズ」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていただくほか、体験ボランティアとして来町していただいたり、交流拠点のイベントに参加していただいたりすることにより、町の関係を維持し、将来的な移住定住に結びつける。 ※全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進と連携実施 ・サマースクール委託料2,771千円 ・ゆるりん館指定管理委託料7,490千円 ・ゆるりん館賃借料779千円	関係人口の創出のため、関連イベントでフェローズのPRを行った。 ・R4.9.17 オンラインセミナー ・インターネット広告より夏の湯梨浜町を体験した記事を9/2に公開。9/30時点7,832PV。	11,040	(地方創生推進交付金) 新たにゆりはまフェローズに認定された人数:25人 (R4)※R4.4.22時点545人	100%	【評価:A 達成済又は事業完了】 R4.4.22時点545人 ⇒R4.11.14時点570人 25人/25人=100%	地方創生推進交付金については今年度で採択期間が終了するが、企業版ふるさと納税インセンティブ制度による2年間延長が新規事業採択により国庫補助による事業継続を図り、移住促進を強化していく。	みらい創造室
98 デジタル活用推進事業	地域おこし協力隊による高齢者等情報弱者向けのスマートフォン等の講習会や個人相談会等を開催し、デジタル機器の活用推進を図る。 《R4予算額》4,736千円(報酬1,992千円、期末手当382千円、共済費356千円、活動費1,646千円)	4月～10月末 受講者延べ人数 319名 定期的な音声告知放送による周知を実施。文書全戸配布及び新聞折り込みにて広報を行った。	2,153	受講者の延べ人数:486人	66%	【評価:B 計画より進んでいる】 月平均46名と、ほぼ目標どおりの受講者数で推移しており、計画通り進んでいる。	利用者・受講者からはおおむね好評であり、継続の声も大きいことから、内容をブラッシュアップしつつ継続していく。	企画課

デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）の策定方針

- 1 本年6月に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想基本方針」に基づき、デジタル実装の前提となる3つの取組（①デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備、②デジタル人材の育成・確保、③誰一人取り残さないための取組）を強かに推進するとともに、デジタルの力を活用して、地方の社会課題の解決・魅力向上の取組を加速化・深化させる。
- 2 来年度を始期とする5か年の新たな総合戦略をスタートさせる。
 - 各府省庁の施策の充実・具体化を図り、2027年度までのKPIとロードマップ（工程表）を策定する。
 - 地域ビジョンの実現に向け、政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、施策間連携や地域間連携の具体的方策を位置付ける。

【地域ビジョンの例】

スマートシティ・スーパーシティ		スマートシティAiCT (福島県会津若松市)	産学官協創都市		データを活用した スマート農業の取組 (高知大学)	SDGs未来都市		スマートなまちづくり プロジェクト (北海道上士幌町)	脱炭素先行地域		太陽光発電と大型蓄電池 によるマイクログリッド (静岡県静岡市)	MaaS実装地域		MaaSアプリを利用した タクシー配車 (群馬県前橋市)
		ワーケーション 可能な農泊施設 (イメージ)	「デジ活」中山間地域											

- 3 地方は、国の総合戦略に基づき、目指すべき地域ビジョンを再構築し、地方版の総合戦略を改訂するよう努める。

＜戦略策定に向けた想定スケジュール（案）＞

9月	デジタル田園都市国家構想実現会議（策定方針）
11月	デジタル田園都市国家構想実現会議（骨子案）
12月	デジタル田園都市国家構想実現会議（本体案）/閣議決定

地方創生推進交付金事業の今後の展開について

事業名 多世代が充実した生活と安心して暮らせるまちづくり事業

採択年度 H28～R2

事業概要 平成28年度に策定した湯梨浜町生涯活躍のまち(CCRC)基本計画に基づき、移住促進事業、民間開発によるニュータウン整備や町営住宅建て替えなど住環境の整備のほか、交流拠点施設の整備を行った。官民協力による円滑な事業運営のため湯梨浜まちづくり株式会社を設立し、健康づくりや福祉に関するイベント活動なども行うなど、多世代交流による魅力ある地域づくりに取り組んだ。

主要 KPI 県外からの移住者数 H27：177人 ⇒H28～R2：目標68人増加／実績12人減少

成果 民間遊休地を活用した土地開発事業によりレークサイド・ヴィレッジゆりはまが整備され、約70区画の分譲宅地の整備、地域福祉施設5事業所の開業、PFI方式により民間活力を生かした町営住宅整備を行った。地域協議会の検討を踏まえ空き店舗活用による多世代交流拠点施設の整備、総合相談センター・お試し住宅の整備し、湯梨浜まちづくり株式会社による運営を進め、地域課題解決のための自主事業も展開している。

課題

- ・就業の場としての企業数が少なく雇用力が小さい。
- ・地域経済循環率¹は生産基盤が弱いいため県内ワースト3の47%と、経済の自立度が低い。
- ・町民一人当たりの所得も低位にある。
- ・人口の社会増減については、平成28年度から5年間でプラス17人と転入超過の社会増となっているが、県内転入の依存度が高い。
- ・高校または大学卒業時の節目に首都圏への人口流出が圧倒的に多く、県外社会減の恒常的なマイナスの要因となっている。

今後の展開

- ・企業力向上はじめ生産基盤の充実を進め、就業の場の強化を図る。
- ・新しい働き方と仕事づくりシステムを構築し、地域の課題解決と経済循環を高める。
- ・空き家等既存ストックを定居家屋、交流拠点として活用を進め、移住促進と多世代交流による地域活性化を図る。
- ・町の特長をデジタル活用など多角的に情報発信し、関係人口の構築と移住促進を図る。
- ・意識調査やエビデンスに基づく地域ぐるみの安心出産・子育てしやすい環境整備を図る。

¹ 生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い)。

地方創生推進交付金事業の今後の展開について

- 事業名** 発祥地グラウンド・ゴルフと公認コース第1号ウオーキングによる我が町オンリーワンが輝くための「聖地化」、インバウンド促進事業
- 採択年度** H29～R3
- 事業概要** 海外に向けた普及活動や大会等を行い、競技の認知度を高め、「グラウンド・ゴルフの聖地」「ウオーキングリゾート」としての地位を確立し、インバウンドを促進する。
＜グラウンド・ゴルフ＞海外でのトップセールス、用具提供、多言語版ルール動画製作
＜ウオーキング＞済州オルレとの協議、多言語版ウオーキングマップ作成
- 主要 KPI** 温泉宿泊客数 H27：167,885人⇒R3目標21万人／実績60,584人
海外からのイベント参加者数 H28：171人⇒R3目標521人／実績0人
- 成果** ＜グラウンド・ゴルフ＞海外普及活動により、ポーランド、ハンガリー、マレーシア、スリランカ、モルディブにおいて、協会又はこれに準じた団体が設立された。H30に町内民間事業者による海外向けの用具販売を開始し、R1に国際グラウンド・ゴルフ連盟を設立した。
＜ウオーキング＞R2に韓国の社団法人済州オルレと「友情の道」協定を締結した。
- 課題** ・グラウンド・ゴルフはマイナースポーツであるため、各国においてしっかりとした組織等がない場合、国際大会参加に直結することは少なかった。
・グラウンド・ゴルフにおいては海外諸国においては製造、価格、関税等の理由により用具が入手困難であり、普及の支障となっている。
- 今後の展開** (1) ルール海外普及
国際連盟と連携したルール紹介・指導
(2) 用具海外普及
・日本の愛好者から収集した用具を再生して海外に提供
・湯梨浜まちづくり株の用具海外販売を支援
・発祥地モデル用具製作
(3) 国際大会開催支援
各国の国際大会開催を支援して交流人口の拡大を図る。
(4) 国際組織運営支援
・国際的な用具製造認可等の体制構築支援
・国際連盟主催大会開催支援